学生生活実態調査報告書

平成 26 年度

新潟大学大学教育委員会 学生支援専門委員会

学生生活実態調査報告書の刊行に当たって

学生生活実態調査は、本学学生の勉学・研究、日常生活上の意識及び生活実態を把握することで、本学学生に対する福利厚生、修学支援、課外活動支援、授業・研究環境整備等の施策立案及び改善を行うための基礎データ収集を目的としており、平成6年以来、4年ごとに実施し、今回の調査は第6回目となります。前回、平成22年の調査以降、本学では、教育・学生支援機構学生支援センターに「学生相談部門」を設置し「学生支援相談ルーム」を開設することにより学生相談窓口の充実を図り、また、同センターに「障がい学生支援部門」を設置し「特別修学サポートルーム」を開設することによって障がいのある学生の向学心を支えるための体制整備を行いました。さらに、主専攻プログラムを充実させるための「新潟大学学士力アセスメントシステム(NBAS)」の導入や自主的学習環境整備のための附属図書館のリニューアルなど、順次、教育・修学環境の改善を行い、また、従前から要望の多い冷暖房の充実、老朽化対策などの施設整備については、予算的な制約がある中、年次計画等により改善を図ってきているところです。

今回の調査結果の全体的な傾向としては、前回と同程度もしくは比較的高い満足度であったのではないかと言えます。一方で、課外活動施設・設備の整備や学生食堂をはじめとした福利厚生面での整備など、今後も引き続き検討を要する要望も多く見受けられます。

また、本調査に対する学生からの回答率が年々下がってきており、今回も低い水準であったことから、 次回以降の調査においては、これについての対応も検討する必要があると考えられます。

以上が今後重点的に取り組むべき課題となります。

最後とはなりますが、今回の調査実施にあたって、多忙な時間を割いて調査を担当された大学教育委員会学生生活実態調査専門部会(小野和宏部会長:歯学部教授)の委員ならびに学務部の事務担当者、アンケートに協力していただいた学生諸君など、関係者のご協力とご尽力に感謝いたします。

平成27年6月

副学長(学生支援・就職支援担当) 松 井 克 浩

目 次

序		草	調査の	り概要	
			1	調査の目的	1
			2	調査の組織	1
			3	調査の対象	1
			4	調査の時期	1
			5	調査の方法	1
			6	回答状況	2
			7	調査項目と集計方法	2
第	1	章	所属学	学部・研究科等について	
			1	所属学部・研究科	3
			2	学年	5
			3	性別	6
第	2	章	家庭状	式況について	
			1	実家の所在地	7
			2	家族の人数	10
			3	授業料負担者	11
			4	主な家計支持者の年間収入	11
第	3	章	住居・	通学・食事について	
			1	住居所在地	13
			2	住居区分	13
			3	通学方法とその所要時間	14
			4	自動車の所有	15
			5	食事	16
第	4	章	収入・	支出について	
			1	収入(月額)	17
			2	支出	20
第	5	章	アルバ	ドイトについて	
			1	アルバイトの経験	24
			2	アルバイトの理由	24
			3	アルバイトの職種	25
			4	アルバイトの日数	26
			5	アルバイトの時間	27
			6	アルバイト収入の使途	27
			7	アルバイトと学業	28
第	6	章	課外活	動について	
			1	サークルの加入状況	29
			2	サークルに加入した理由	29
			3	サークル活動と学業	30
			4	サークル活動の日数と時間	31
			5	課外活動施設の満足度	32
			6	サークルに加入していない理由	33

第	7	章	健康・	悩みについて	
			1	定期健康診断の受検	34
			2	睡眠時間	35
			3	感染症	36
			4	悩み	37
			5	悪徳商法や詐欺被害	39
第	8	章	大学生	活について	
			1	新潟大学と所属する学部・研究科の教育理念・教育目標	41
			2	登校日数	41
			3	自習時間	42
			4	学業以外の過ごし方	42
			5	ボランティア活動	43
			6	海外旅行	43
			7	読書	44
			8	本学に入学した理由と大学生活の重視していること	45
			9	新潟大学に対する満足度	46
			10	新潟大学の魅力	46
第	9	章	大学の	施設・設備について	
			1	施設の広さや機能(質)の満足度	47
			2	図書館の利用頻度、利用目的及び満足度	48
			3	ICT環境(インターネット、メール等)	50
			4	施設等に対する不満	50
第	10	章	授業に	ついて	
			1	カリキュラムに対する満足度	52
			2	授業への出席、授業の理解度及び授業に対する満足度	52
			3	授業内容にわからないことがあった場合の対処法	54
			4	授業に満足していない理由	55
			5	教育研究指導に対する満足度 [大学院学生]	55
			6	教育研究環境(施設・設備等)に対する満足度[大学院学生]	56
第	11	章	大学に	対する不満・要望について	
			1	大学全般	58
			2	学部・研究科	59
			3	教育・研究	60
			4	事務職員の対応	60
			5	施設の整備、利用	61
			6	福利・厚生	62
			7	本アンケート	62
			8	その他	63
\bigcirc	È	单純4	集計表		65
\bigcirc	7	学生	生活実態訓	周査調査票	85

序 章 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、本学学生の勉学・研究、日常生活上の意識及び生活実態を把握することにより、本学学生に対する福利厚生、修学援助、授業・研究環境、課外活動等の施策立案及び改善を行うための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査の組織

新潟大学大学教育委員会学生支援専門委員会の下に学生生活実態調査専門部会を設け、平成26年2月 17日に発足した同専門部会が作業にあたった。

	氏	名	所属・職名(H27.3現在)	執筆章
専門部会部会長	小野	和宏	医歯学系(歯)・教授	序章・第11章
委 員	岡村	浩	人文社会・教育科学系(教育)・教授	第1・2章
委 員	澤村	明	人文社会・教育科学系(経済)・准教授	第3・4章
委 員	金子	隆司	自然科学系(工)・教授	第5・6章
委 員	真島	一郎	保健管理センター・講師	第7章
委 員	村山	賢一	保健管理センター・講師	第7章
委 員	佐藤	敬一	自然科学系 (院自)・准教授	第8章
委 員	中村	和利	医歯学系 (院医歯 (医))・教授	第9・10章
委 員	五島	譲司	教育・学生支援機構・准教授	データ提供

3 調査の対象

平成26年10月1日在籍の学部学生(経済学部の夜間主コースを除く)及び大学院生(技術経営研究科を除く。)を対象とし、学部学生は学部別(医学部にあっては、学科別)、学年別、男女別に約20%を、大学院学生は修士課程・博士課程とも、研究科別、学年別、男女別に約50%を無作為に抽出した。ただし、休学者及び外国人留学生は対象外とした。

4 調査の時期

平成26年10月1日(水)現在で調査し、最終回答期限を11月30日(日)とした。

5 調査の方法

学務情報システムを利用したWeb入力とした。

調査対象学生に対して、学務情報システムの「連絡通知」機能を利用して、学務部学生支援課から調査の協力依頼を行った。

6 回答状況

回答者総数は553人(回答率19.2%)で、内訳としては、学部学生423人(回答率21.4%)、大学院生102人(回答率17.3%)であった。詳細は下表のとおりである。

学生生活実態調査 学部・研究科別 対象者数及び回答状況一覧

学部・研究科	抽出者数	回答者数	回答率 %
人文学部	194	48	24.7
教育/教育人間科学部	312	59	18.9
法学部	152	49	32.2
経済学部(※夜間主コースは除く)	235	65	27.7
理学部	173	42	24.3
医学部(医学科)	147	5	3.4
医学部(保健学科)	134	44	32.8
歯学部	70	7	10.0
工学部	421	81	19.2
農学部	140	23	16.4
学 部 計	1,978	423	21.4
教育学研究科	41	10	24.4
現代社会文化研究科	31	9	29.0
自然科学研究科	477	74	15.5
保健学研究科	27	7	25.9
医歯学総合研究科 (医科学)	9	1	11.1
医歯学総合研究科(口腔生命)	5	1	20.0
大学院(修士・博士前期) 計	590	102	17.3
現代社会文化研究科	21	2	9.5
自然科学研究科	76	11	14.5
保健学研究科	14	1	7.1
医歯学総合研究科(医)	128	1	0.8
医歯学総合研究科(歯)	53	6	11.3
医歯学総合研究科(口腔生命)	7	1	14.3
実務法学研究科	10	6	60.0
大学院(博士・博士後期) 計	309	28	9.1
合 計	2,877	553	19.2

7 調査項目と集計方法

設問は全部で72問あり、これらについて単純集計及びクロス集計を行った。また、問29、問55、問56、問59、問60、問61、問62、問63、問69、問72及び最後に「上記以外の意見・要望」についての自由記述欄を設けた。

第1章 所属学部・研究科等について

1-1 所属学部・研究科

新潟大学の各学部から等しく20%の学生を、各研究科から等しく50%の学生を抽出した。抽出された学生は、学務情報システムに掲載されたアンケートへの回答を依頼された。2ページの回答状況に示されたように、回答率は残念ながら全体として低い。前回の調査に比べ、実務法学研究科以外はすべて下がっている。

図1-1は、実際に調査に回答した学生数が、各学部・研究科の学生数に占める割合を示したものである。この図は各学部・研究科ごとの値を示しているが、学部全体では4.3%の学生が回答した。大学院生のうち、修士・博士前期では全体の8.7%が回答したが、図に示されているように研究科による差もみられる。博士後期は全体の4.7%の学生が回答した。なお、今回から医学部を医学科と保健学科とに分けた形で分析を行った。

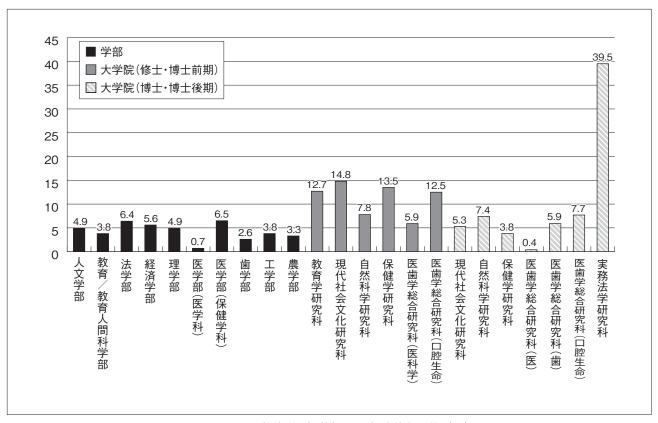


図1-1 回答者数/各学部・研究科学生母数(%)

図1-2~図1-4は、実際に回答した学生の構成が、各所属区分の全体構成をどの程度よく反映しているかを示している。例えば学部の回答者頻度を示した図1-2では、工学部の回答者相対頻度がもっとも高いが、これは在籍学生の相対頻度を概ね正しく反映している。一方、法・医(医)などは在籍学生数に対して回答者の割合が比例していない。今回の各学部・研究科の回答者の相対頻度は、全体的に在籍学生の所属構成割合をあまり反映していない部分も前回に比べみられる。

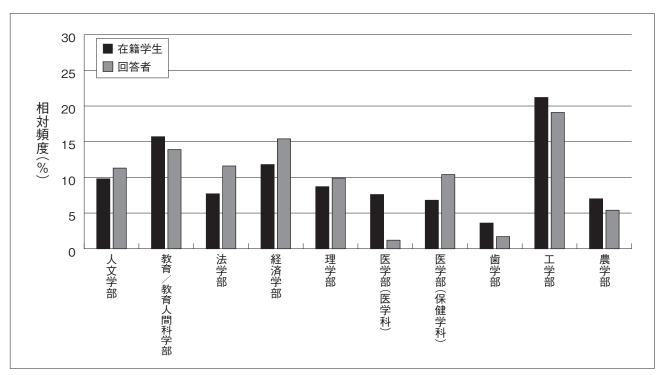


図1-2 各学部の在籍学生数相対頻度と回答者数相対頻度の比較

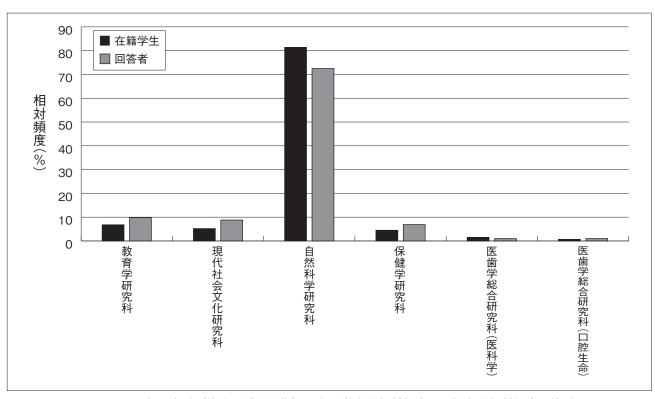


図1-3 各研究科(修士・博士前期)の在籍学生数相対頻度と回答者数相対頻度の比較

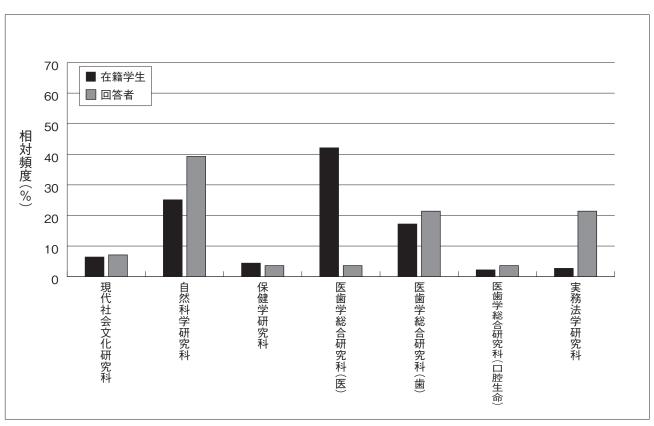


図1-4 各研究科(博士・博士後期)の在籍学生数相対頻度と回答者数相対頻度の比較

1-2 学年

表1-1は、回答者を学部、修士・博士前期、博士・博士後期に区分し、それぞれについて各学年の相対頻度を表したものである。学部は、1年生が多いが、2年生~4年生まで大きな差はない。2年間の課程である大学院修士・博士前期は2年生がやや少ない。博士・博士後期は、学年があがるにつれて回答者が少なくなっており、4年生は特に数字が低い。

表 1 - 1	各所属区分における学年内訳
---------	---------------

(%)	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
学部(N=423)	37.8	20.8	20.8	19.9	0.2	0.5
大学院修士・博士 前期(N=102)	52.9	47.1	_	_	_	_
大学院博士・博士 後期(N=28)	46.4	32.1	17.9	3.6	-	-

1-3 性別

回答者全体では男性が6割弱で、女性を上回っている。これは在籍学生の男女比も同様である。しかし前回と比べると、大学院博士・博士後期課程を除き、少しずつ男性の比率は下がっている。

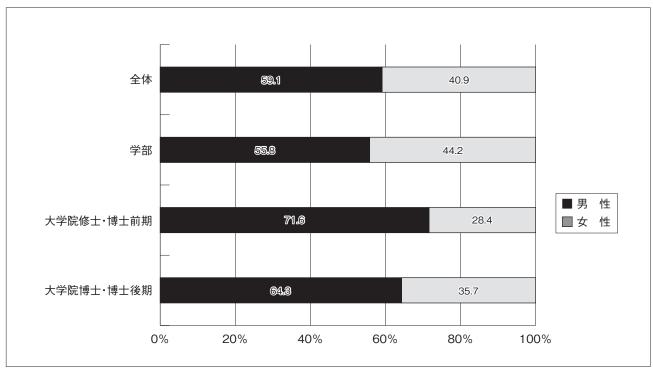


図1-5 全体および各所属区分における回答者の男女比

第2章 家庭状況等について

2-1 実家の所在地

学部学生の県内、県外の出身構成比は図 2-1 である。県内対県外比は、第 1 回 44.1%:55.9%、第 2 回 44.6%:55.4%、第 3 回 39.3%:60.7%、第 4 回 47.3%:52.7%、第 5 回 46.4%:53.6%であった。今回は 県内出身者が大きく減少した(11.2%減)。

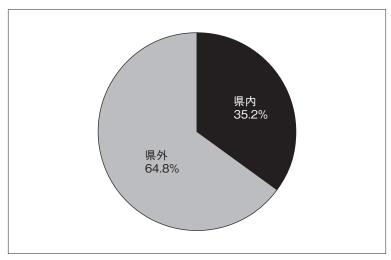


図2-1 学部の県内・県外出身者の構成比(N=423)

県内出身者の詳細を示したのが、図2-2である。前回調査と比べると、全ての地区いずれも数字はほとんど変わっていない。新潟市は前回40.6%であった。上越、中越がそれぞれ少しずつ増加した。

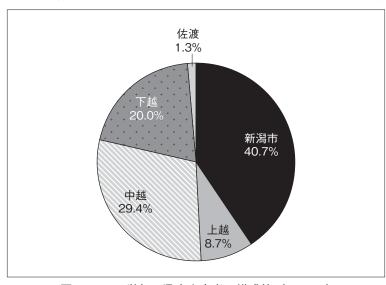


図2-2 学部の県内出身者の構成比(N=149)

県外出身者の出身地方別構成比を図2-3に示す。地方別では、前回東北、関東、中部、北陸の順であったが、今回は北陸と中部の順番が入れ替わった。北陸は10.5%増え、逆に中部は10.9%減となった。前回調査で中部地方出身者が増加して北陸を上回っていたことを付記する。

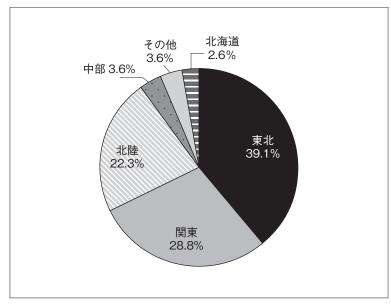


図2-3 学部県外出身者の構成比(N=274)

次に、大学院生の出身地について考察する。ここでは前期課程と後期課程をまとめて集計した。図2-4に県内・県外の出身構成比を示す。今回調査では県内出身者が0.7%減った。前々回調査では県内出身者の方が多かった。

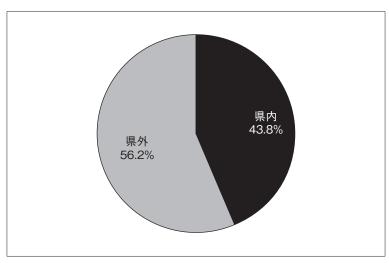


図2-4 大学院の県内・県外出身者の構成比(N=130)

大学院における、県内に家族がある者の所在地別構成比を図2-5に示す。新潟市出身者は、学部では4割程度であったのと同様の割合を占める。ただし前回調査では新潟市出身者は55.7%であったのと比べると、随分数字が低くなっている。代わりに上越が6.4%増えるなど他地区が増加した。

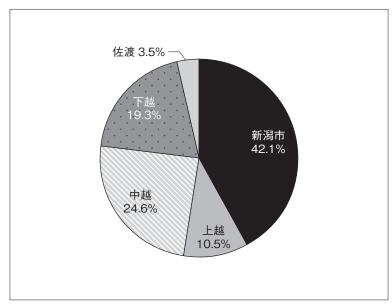


図2-5 大学院県内出身者の構成比(N=57)

大学院の県外出身者の出身地方別構成比を図2-6に示す。ここでも関東が最も多く、東北、北陸と続く。東北は13.3%減、中部が9.4%減、代わりに関東が14.4%増、北陸が9.8%増となった。このように今回の調査では比率の変動が大きかった。

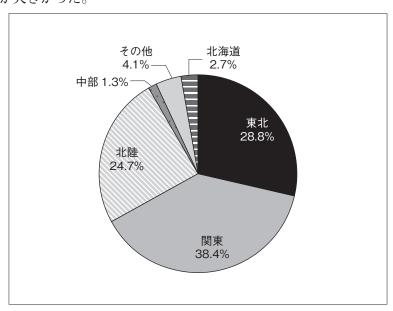


図2-6 大学院県外出身者の構成比(N=73)

2-2 家族の人数

学部学生の家族の人数内訳を図 2 - 7 に示す。縦軸が家族の人数で、横軸が回答者数である。割合が高い方から 4 人が35.2%、 5 人が24.6%、 3 人が17.7%、 6 人が10.2%、 7 人が5.2%の順であった。この結果、わずかな差で 7 人が 2 人家族を上回った。

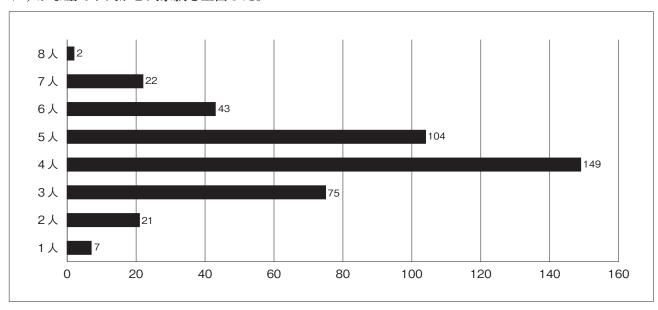


図2-7 学部学生の家族人数の内訳

大学院生の家族の人数内訳を図 2 - 8 に示す。学部同様 4 人家族が41.0%と最も多く、次に 3 人家族が34.0%だった。その後は、 5 人(16.9%)、 2 人(13.8%)、 6 人(4.6%)、と学部とは少し異なる結果となった。

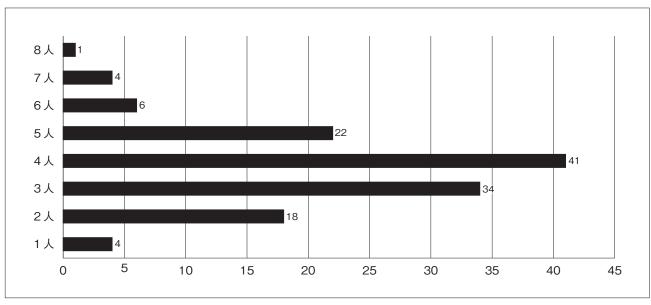


図2-8 大学院学生の家族人数の内訳

2-3 授業料負担者

表2-1は学部と大学院の授業料負担者を示している。双方とも家計支持者(保護者)が圧倒的多数であったが、大学院は学生自身が負担するケースも2割以上みられた。

	14.2	1 1文未行只1	트Ή	
	本人	家計支持者	家計支持者以外	その他
(%)		(保護者)	の家族	
学部(N=552)	5.4	93.1	0.7	0.7
大学院(N=218)	26.0	71.5	8.0	1.5

表2-1 授業料負担者

2-4 主な家計支持者の年間収入

学部学生の家庭における年間収入の比率を図2-11に示す。400万円未満31.5%、400万円~600万円未満31.7%、600万円~800万円未満20.5%、800万円~1000万円未満10.0%、1000万円~2000万円未満5.3%であった前回の数字と比べ、各比率はほとんど変わっていない。ただし、前回は200万円未満と200万円~400万円とに区分していたところを、今回は400万円未満にあわせて数字を集計した。2000万円未満とする上限の区分もなくした。

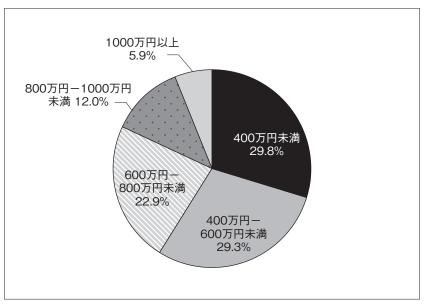


図2-11 学部の主な家計支持者の年間収入(N=423)

大学院生の家庭における年間収入の比率を図2-12に示す。前回調査と比較すると400万円未満が5.1% 増加した。前々回調査でも15.5%増加している。また、400万円~600万円未満が2.5%増加。一方、600万円以上では相対的に数字が下がっている。総じて全体的に年間収入の低下現象が窺える。

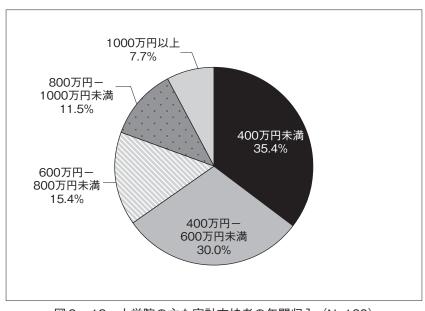


図2-12 大学院の主な家計支持者の年間収入(N=130)

第3章 住居・通学・食事について

はじめに

問8~問13では、住居、通学方法、食事に関する質問を行なった。以下、それぞれについて結果を記す。

3-1 住居所在地

学生の住居所在地については、図3-1のとおりであった。

「五十嵐・大学南・内野」地区に居住する学生は、学部生が73.3%(前回67.5%)、大学院生は64.6%(前回62.3%)で、ともに前回より増加している。「その他」以外で2番目に多いのは、学部生は「旭町」地区(9.0%)、大学院生は「公共交通機関で1時間以内」の地区で11.4%であった。前回は学部生・大学院生共に「公共交通機関で1時間以内」居住者が2位であったため(学部生11.4%、大学院生12.6%)、変動が見られる。

なお「五十嵐・大学南・内野」地区と「旭町」地区以外の居住者は減少している。

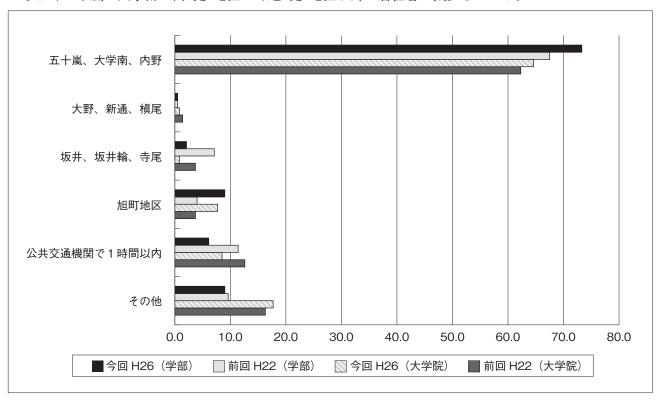


図3-1 住居所在地

3 - 2 住居区分

住居区分は図3-2のような結果であった。自宅から通学する学生は、学部生で16.3%(前回22.5%)、大学院生で22.5%(前回23.8%)であり、ともに前回調査より減少した。なお女子学生のほうが、自宅率が高いという通説があるが、今回の調査では男女間に有意な差は見られなかった (χ^2 検定、有意水準5%)。

自宅以外の大半は、台所・バス・トイレ付きアパート・マンションであり、学部生の75.9%(前回68.0%)、大学院生の68.5%(前回70.1%)を占める。に居住しており、その割合は、調査の年や学部学生と大学院生にかかわらずほぼ一定の範囲内にある。反対に台所・バス・トイレといった施設の一部(あるいは全部)を共同利用する形態のアパートや貸間および下宿、学生寮に居住する学生の割合は学部生7.1%、大学院生6.9%である。大学院生のうち、学生寮入居が3.8%であった(前回・前々回では皆無)。

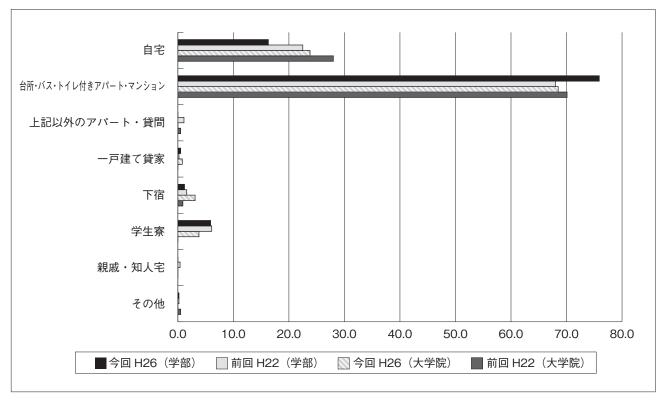


図3-2 住居形態

3-3 通学方法とその所要時間

図3-3に通学方法、図3-4に通学に要する片道時間を示した。通学方法について学部生では、自転車が45.9%(前回44.3%)で最も多く、次いで徒歩のみが38.3%(前回30.1%)、公共交通機関が10.9%(前回16.2%)、自動車が3.5%(前回7.9%)、オートバイ・スクーターが1.4%(前回同じ)となった。

大学院生では、徒歩のみが46.9% (前回45.9%)、自転車が23.8% (前回26.3%)、自動車が15.4% (前回15.8%)、公共交通機関が13.1% (前回11.9%)、オートバイ・スクーターが0.8% (前回0%) であった。

徒歩と自転車で学部生の84%、大学院生の71%を占める。回答者の $6\sim7$ 割が大学近辺居住であるから(図3-1)、この結果になったと推察できる。一方で学部生の公共交通機関利用者が、前々回と前回の間では大きな変化がなかったものの、前回と今回とでは減っており、今後の動向に注視する必要があろう。

通学に要する時間を見ると、学部学生は85.3% (前回78.4%)、大学院生は73.1% (前回75.2%) が30分以内としている。

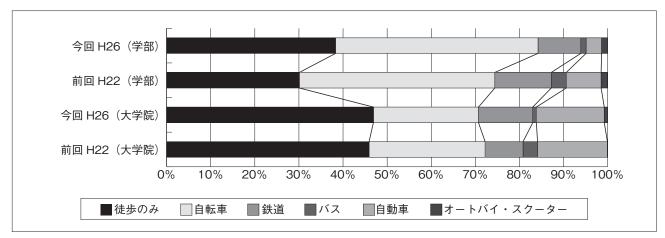


図3-3 通学方法

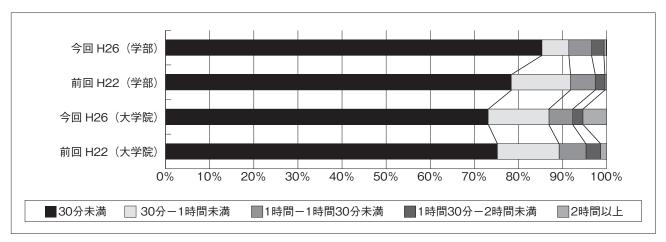


図3-4 通学に要する時間

3-4 自動車の所有

今回の調査では、自動車の所有について尋ねた。結果が図3-5で、学部生の25.1%、大学院生の53.1%が主に自分が使用できる自動車を所有していると回答した。

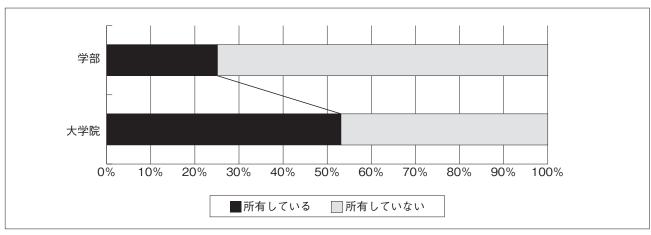


図3-5 主に自分が使用できる自動車を所有しているか

3-5 食事

朝食を自宅あるいは自炊で取る学部生は65.5%、大学院生は65.4%を占めている。一方、朝食を取らない割合は、今回の調査では学部学生は22%(前回16.4%)、大学院生は12.3%(前回25.8%)であった。朝食を取らないと答えた学生を男女別で見ると、男子の21.4%(70名)、女子の17.3%(39名)であり、そのほとんどがアパート・マンション暮らしである(男子90%[63名]、女子87.2%[34名])。ただし男女の朝食抜き率に有意な差は見られなかった(χ^2 検定、有意水準 5%)。

昼食を学内外の食堂で取る学部生の割合は31.9%で、前回の29.6%と大差はなかった。大学院生については19.2%で、学部学生の割合に比べて低く、研究室で食事を取ることが多いことを反映しているとも考えられるが、前回の16.8%よりも増えている。コンビニもしくは生協で購入する割合について、学部生は33.1%(前回30.4%)、大学院生は43.9%(前回51.4%)となっている。

夕食については、自宅あるいは自炊で取る学部学生の割合は82.5%(前回81.1%)、大学院生は67.6%(前回72.1%)である。さらに、大学院生が学外食堂で夕食を取る割合は10.8%(前回14.0%)、コンビニでの購入が12.3%(前回6.0%)で、学部学生(それぞれ7.8%と5.2%)に比べ高い割合である。生協で夕食を取る学生の割合は、学部生は0.9%(前回1.6%)、大学院生は1.5%(前回2.4%)で、低かった過去2回の調査からさらに減っている。

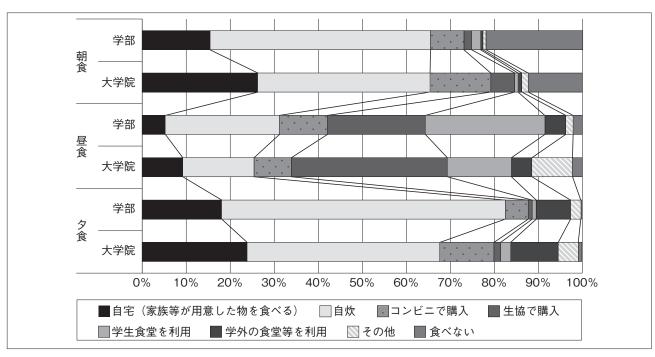


図3-6 食事

第4章 収入・支出について

4-1 収入 (月額)

項目別に見ると、家計支持者からの援助が無いと答えた学部生は、16.8%(前回19.6%)で、前回調査より減少している。また、大学院生では30.0%(前回23.3%)で、学部生より高い割合であり、前回調査より増えている。学部学生の送金額の平均金額(0の回答を含まない、以下同じ)は61.9千円で前回の58.6千円から増えているが、前々回は68.3千円であったので傾向としては不明である。ただし中位数は50千円であり、900千円、850千円、800千円、400千円と高額回答者が各1名いるため、平均値が高い目に出ている。同様に、大学院生も前回の78.1千円から62.0千円へ減少した。前々回が91.3千円であったため減少傾向といえよう。大学院生も中位数は50千円であった。

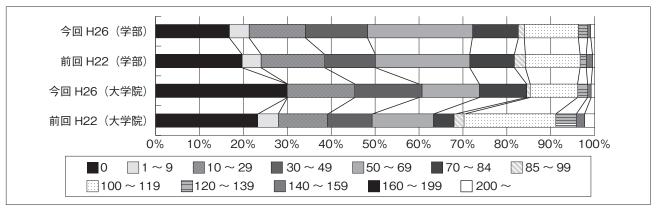


図4-1 収入(家計支持者からの援助)

奨学金を受けている学部生は52.1% (前回54.2%)、大学院生は50.8% (前回54.9%) で、ともに前回より減っているが、前々回の約40%を大きく上回ったままである。受給している奨学金の平均金額は、学部生で52.4千円 (前回58.7%)、大学院生78.5千円 (前回76.3千円) であった。

受給金額帯は、学部生・大学院生とも50~69千円が多いが、大学院生では85~99千円の受給者が全回答者のうち14.6%存在するため、平均金額の差となっている。

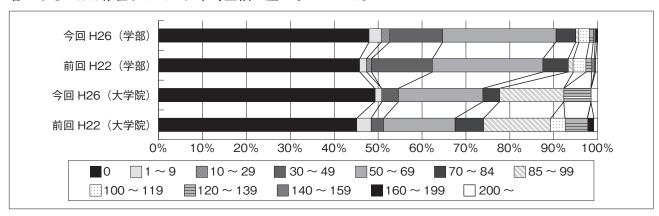


図4-2 収入(奨学金)

奨学金の受給先では、日本学生支援機構(第一種)すなわち無利息給付金では、学部学生の割合は44.6%(前回38.3%)、大学院生は73.6%(前回72.1%)であった。日本学生支援機構(第二種)すなわち利息付給付金を受給する学部生の割合は45.5%(前回49.1%)、大学院生は15.3%(前回23.0%)であった。

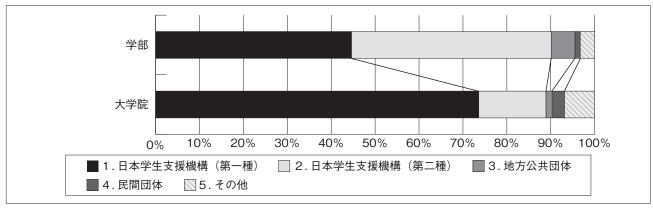


図4-3 奨学金受給先

家庭教師をしている学部生は8.3%(前回13.9%、前々回22.1%)であり、減少傾向が見られる。家庭教師をしている大学院生では6.2%(前回7.0%)で、その割合は低い。

家庭教師による平均収入は学部生で17.9千円(前回21.8千円)、大学院生で17.25千円(前回20.2千円)であった。前回の金額に比べ減少傾向にある。金額帯としては、学部生、大学院生とも10~29千円が多い。

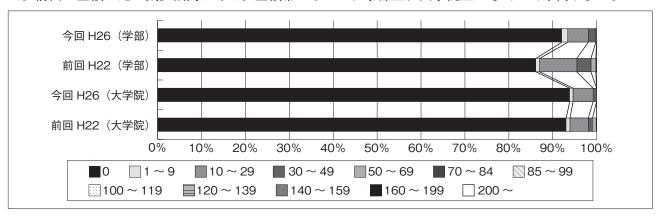


図4-4 収入(家庭教師)

家庭教師以外のアルバイトをしている割合については、学部生で49.6% (前回45.5%)、大学院生で53.1% (前回62.8%)である。平均金額は学部生で33.5千円、大学院生で44.7千円であった。大学院生の場合、月に10万円以上の収入があると答えた者が数名あり、たとえば月400千円の収入があると答えた大学院生は間6の授業料負担者を本人と答えており、社会人学生であろう。これらの高額収入者がいるため平均金額が高まっているが、中位数は32.5千円である。

金額帯としては、学部生の場合、最多金額帯が30~49千円、大学院生で10~29千円であった。前回はどちらも10~29千円であったので、学部生のみ稼ぎが良くなったことになる。

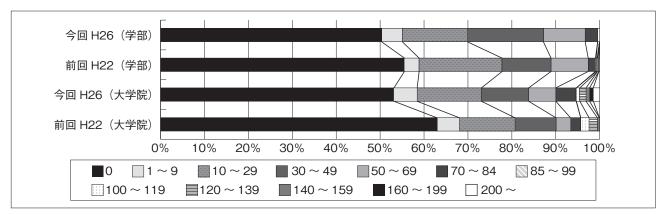


図4-5 収入 (家庭教師以外のアルバイト)

家計支持者以外から援助を受けている割合は、学部生で7.8%、大学院生で5.4%である(前回は共に約10%)。最も多い金額は、学部生で $10\sim29$ 千円で、全回答者の3.3%(前回4.9%)、大学院生は $30\sim49$ 千円で同じく2.3%(前回は $10\sim29$ 千円で4.7%)であった。

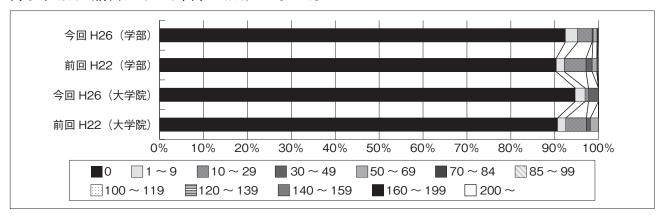


図4-6 収入(家計支持者以外からの援助)

今回の調査では、収入として上記以外の収入を尋ねた。その他の収入金額欄を記入した回答者は、学部生の8.3%、大学院生の17.7%であり、平均金額は学部生で26.9千円、大学院生で196.0千円であった。大学院生では月に200千円以上の収入があると答えた者が、0の回答を含む全回答者の8.5%を占めており、全員が授業料を本人負担であったことから、社会人学生であろう。

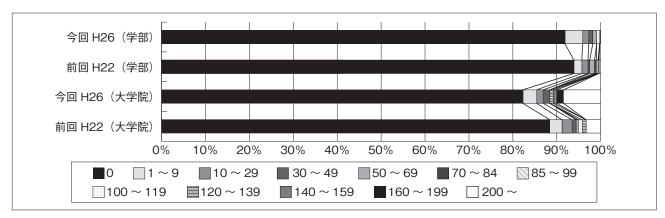


図4-7 収入(その他の収入)

4-2 支出

まず住居費については、支出していないとした回答者が、学部生の15.1%、大学院生は12.3%であり、前回のそれぞれ20.5%、22.2%および前々回のそれぞれ29%、32.7%より減少傾向にある。自宅生の減少がうかがわれる。学部生の住居費の平均金額(0の回答を含まない、以下同じ)は38.2千円であった(前回39.7千円)。最も多い金額帯は30~49千円が全回答者(0の回答を含む、以下同じ)の48.2%(前回46.6%)で、2番目は50~69千円で全回答者の16.5%(前回15.5%)であり、前回と同じである。一方、大学院生の平均金額は46.16千円で学部生より高い(前回43.1千円)。最も多い金額帯は30~49千円45.4%(前回43.4%)で、2番目は50~69千円16.2%(前回19.8%)であり、学部生と同じであった。

なお問9で住居は自宅と答えながら住居費の金額を回答した者は27名おり、うち住居費を月5万円以上 支出している回答者が14名で、そのうち10名は大学院生かつ授業料が本人負担である。

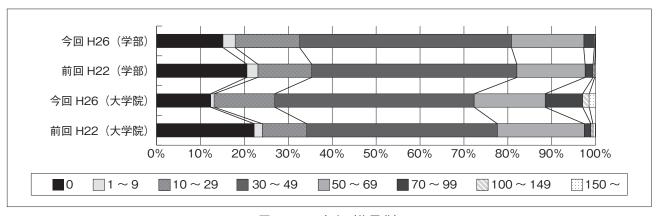


図4-8 支出(住居費)

1ヶ月の食費の平均金額は、学部生で21.6千円(前回21.1千円)、大学院生で29.8千円(前回24.3千円)であった。金額帯は学部生では $10\sim29$ 千円が最も多く、全回答者の56.0%(前回56.7%)、大学院生は $30\sim49$ 千円で40.8%(前回 $10\sim29$ 千円、41.0%)であった。なお $10\sim49$ 千円で学部生の全回答者の86.5%、大学院生のそれで80.8%を占める。また食費を0円とした学生が、学部生の3.3%(前回3.4%)、大学院生の3.8%(前回3.8%)であった。

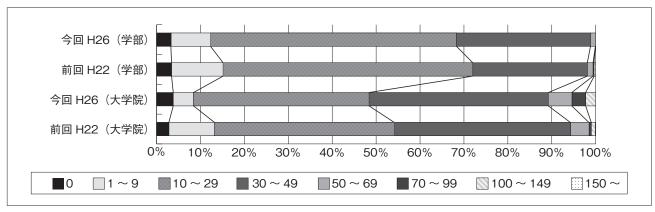


図4-9 支出(食費)

勉学費については、学部生の平均金額が6.6千円、大学院生のそれが10.7千円であった。中央値がそれぞれ5千円、10千円であった。金額帯では学部生では $1\sim9$ 千円が最も多く、全回答者の60.0%(前回54.2%)であった。大学院生で最も多かったのは $10\sim29$ 千円が全回答者の40.8%(前回37.2%)で前回よりも金額帯が一つ上がった(前回は $1\sim9$ 千円が39.1%)。なお勉学費をゼロ円と回答した学生が、学部生の14.2%(前回15.4%(前回15.4%(前回17.7%)であった。

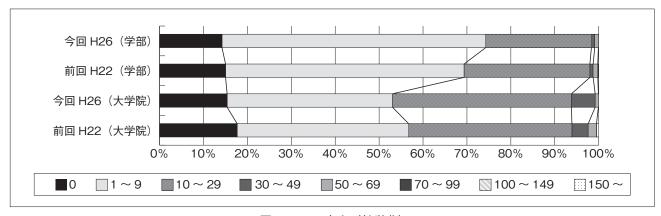


図4-10 支出(勉学費)

教養娯楽費については、学部生の平均金額が11.7千円(前回11.2千円)、大学院生の平均金額が15.0千円(前回12.5千円)であった。ただし大学院生の中央値は10千円である。金額帯としては学部生・大学院生とも10~29千円とした者が最も多く(全回答者の49.9%と53.0%)、前回と変わらない(53.0%と59.5%)。

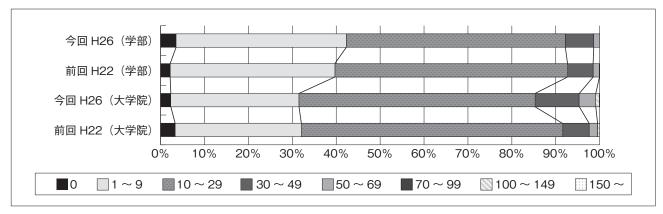


図4-11 支出(教養娯楽費)

被服費は、学部生の平均金額が7.5千円(前回7.8千円)、大学院生の平均金額が7.3千円(前回7.2千円)で前回と変わらない。なお男女間で有意な差はなかった(t検定、有意水準5%)。

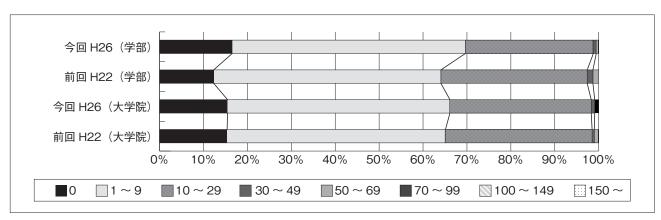


図4-12 支出(被服費)

通学費については、学部学生の79.7%(前回72.1%)、大学院生の71.5%(前回66.0%)が 0 回答である。金額を回答した者の平均金額は学部生で9.1千円(前回7.9千円)、大学院生で10.6千円(前回10.7千円)であった。金額帯で最も多いのは学部生・大学院生とも $1\sim9$ 千円であり、それぞれ金額を回答した者の58.1%、64.7%を占める。

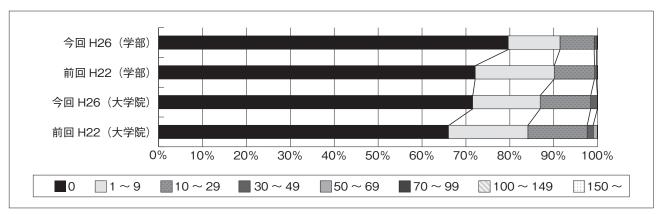


図4-13 支出(通学費)

その他雑貨費については、学部生の平均金額が9.6千円(前回8.7千円)、大学院生が15.7千円(前回11.4 千円)であった。金額帯で最も多いのは学部生で $1\sim9$ 千円(全回答者の41.6%)、大学院生が $10\sim29$ 千円(全回答者の50.8%)と前回と変わらない(48.6%と42.3%)。

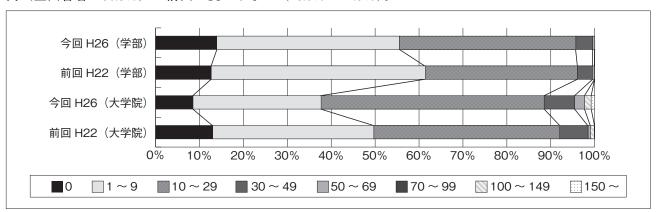


図4-14 支出(その他雑費)

最後の預貯金については、金額を答えたのが学部生の54.9% (前回60%)、大学院生の47.7% (前回50%)であった。平均金額は学部生で16.7千円 (前回26.3千円)、大学院生で28.3千円 (前回29.9千円)であったが、中央値は学部生で10千円、大学院生で20千円である。

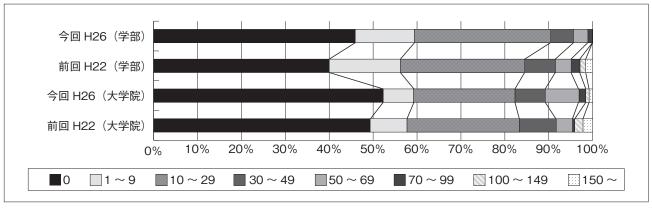


図4-15 支出(預貯金)

第5章 アルバイトについて

5-1 アルバイトの経験

アルバイト経験の有無について、全体で79.2%が経験したことがあると回答している。アルバイト経験者は平成22年度の81.7%から僅かに減少していた。また、アルバイトをした学生のうち「長期」は73.2%、「短期」は22.1%であった。平成22年度ではそれぞれ69.8%、25.4%であった。約8割の学生がアルバイトを行っており、そのうちの約7割の学生は日常的、定期的にアルバイトを行っていると考えられる。

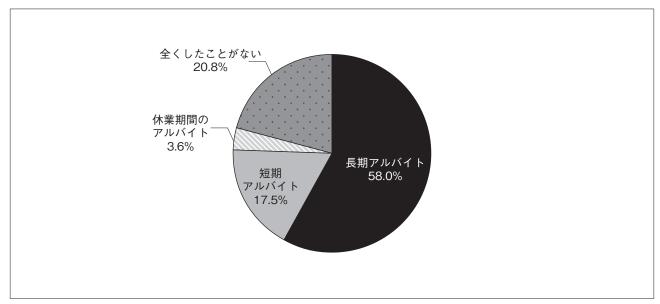


図5-1 アルバイト経験の有無

5-2 アルバイトの理由

アルバイトの理由(複数回答)は、「こづかい・臨時の支出」のためとするものが66.9%と最も多く、以下、「社会経験」40.6%、「家庭の経済的負担を軽減するため」31.7%、「家族からできるだけ自立するため」11.0%、「学業を継続するため」8.0%と続いている。平成22年度ではそれぞれ66.1%、41.5%、32.1%、13.2%、7.0%であった。今回の順位と割合はこれとほぼ同様である。多くの学生にとって、アルバイトの理由は「こづかい・臨時の支出」のためのようである。しかし、約3割が「家庭の経済的負担の軽減」、約1割が「学業の継続」を理由にアルバイトをしていることにも留意する必要がある。

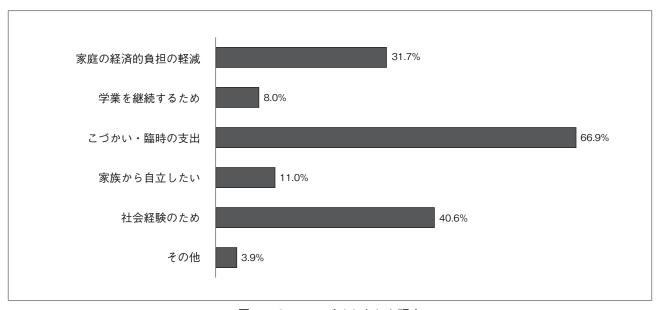


図5-2 アルバイトをした理由

5-3 アルバイトの職種

アルバイトの職種(複数回答)では「販売サービス」が33.6%と最も多く、次いで「飲食業」が33.3%、「肉体労働」18.0%、「学習塾講師」16.2%、「家庭教師」11.2%となっている。平成22年度では、「販売サービス」41.0%、「飲食業」27.7%、「肉体労働」17.5%、「家庭教師」16.3%、「学習塾講師」14.9%であった。前々回調査時から、アルバイトの内容が変化してきている。かつて大学の学生のアルバイト職種として筆頭にあげられていたのは、「家庭教師」と「学習塾講師」であった。平成14年度には両者で49.2%(「家庭教師」36.2%、「学習塾講師」13.0%)であったが、平成18年度には40.9%となり、平成22年度には31.2%となり、今回では27.4%と減少している。代わって、「販売サービス」と「飲食業」の2者が、平成18年度には60.8%、平成22年度には68.7%、今回は66.9%と高い割合を維持している。少子化および小学生から高校生の学校外での学習様態が学習塾主体へと変化していることや、ファミリーレストランや居酒屋などの飲食店、およびコンビニエンスストアをはじめとする販売店での就労が容認されて、就労機会が増加している。また、雇用側も学生アルバイトを求人することなどの社会的変化が、学生のアルバイト職種の大きな変化に現れていると考えられる。

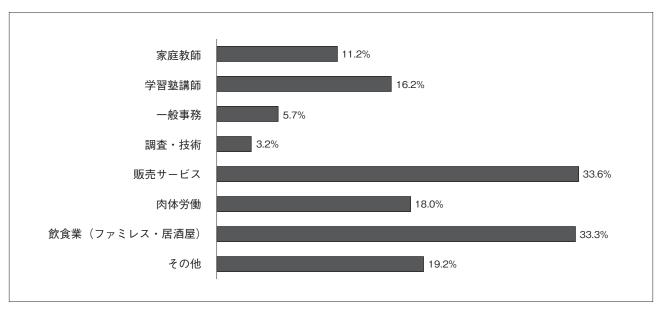


図5-3 アルバイトの職種

5-4 アルバイトの日数

アルバイトの1週間の平均就労日数は、「1 日~2 日」49.1%、「3 日~4 日」43.6%、「5 日~7 日」7.3% であった。平成22年度(それぞれ52.4%、39.5%、8.1%)と比べて大きな変化はない。約 9 割の学生は週のうち数日以内のアルバイトであるが、1 割弱の学生は週に「5 日~7 日」とほぼ毎日アルバイトをしている。

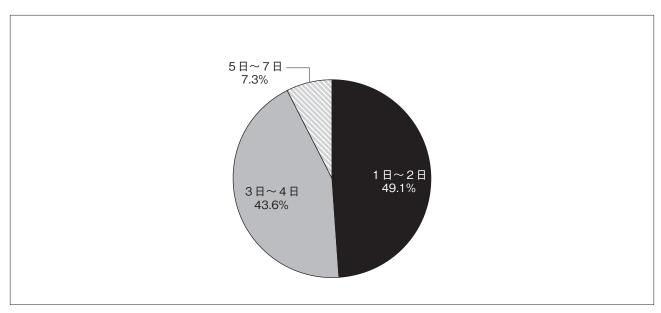


図5-4 アルバイトの1週間の平均就労日数

5-5 アルバイトの時間

アルバイトの1週間の平均就労時間は、「5時間未満」26.5%、「 $5\sim10$ 時間」41.8%、「 $10\sim20$ 時間」21.9%であり、これらで90.2%を占めている。平成22年度はこれらで92.2%(それぞれ25.7%、48.1%、18.4%)であった。一方、週に40時間以上とかなり長時間のアルバイトを行っている学生が、今回は1.4%、平成22年度で1.0%であった。これらの学生は、ほぼ毎日、長時間のアルバイトを行っていることになり、学業への支障が強く懸念される。

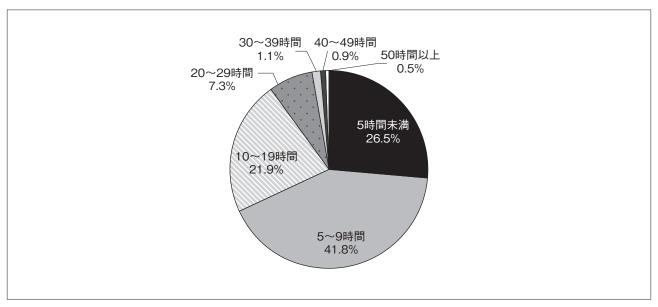


図5-5 アルバイトの1週間の平均就労時間

5-6 アルバイト収入の使途

アルバイト収入の使途(複数回答)をみると、「衣食住」53.2%と「娯楽レジャー」48.6%が特に多く、次に「預貯金」24.2%となっている。平成22年度にもそれぞれ51.0%、54.1%、23.7%であり、今回の順位と割合もほぼ同様である。このことから、多くの学生にとって、アルバイト収入の主な使途はこれら3者、すなわち生活、遊びおよび蓄えであると考えられる。

一方、アルバイト収入の使途として、今回の調査では「勉学費」7.5%、「授業料」3.7%および「課外活動費」10.5%が上げられている。平成22年度にはそれぞれ9.1%、4.8%、11.1%であり、今回の割合もほぼ同様であった。「5-2 アルバイトの理由」にもみられたように、大学での学業の継続や課外活動の参加のためにアルバイトの収入を充てなければならない学生が約1割いると考えられる。昨今の経済状況が学生本人や保護者に与えている影響に配慮した支援や対策が必要であろう。

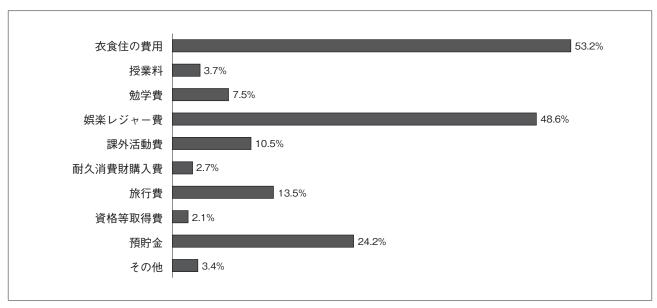


図5-6 アルバイト収入の使途

5-7 アルバイトと学業

アルバイトと学業との関係では、学業に「ほとんど支障なかった」が最も多くて63.9%であった。これに「学業に役立った」の9.1%を加えると、両者で73.0%であった。今回の回答は、平成22年度(それぞれ60.6%、9.9%)とほぼ同様であった。このことから、約7割の学生はアルバイトと学業を両立させていると考えられる。しかし、20.5%の学生は、学業に「少しは支障があった」と感じている(平成18年度23.2%、平成22年度23.6%)。さらに、「授業への出席が悪くなった」2.1%(同3.5%、3.2%)、「成績が悪くなった」0.5%(同2.1%、1.4%)も無視できない割合であるが、減少傾向にある。アルバイトの就労日数と就労時間がかなり多いために、学業に支障を生じ、成績不振に陥っている学生がいる。このような学生への指導が必要であろう。

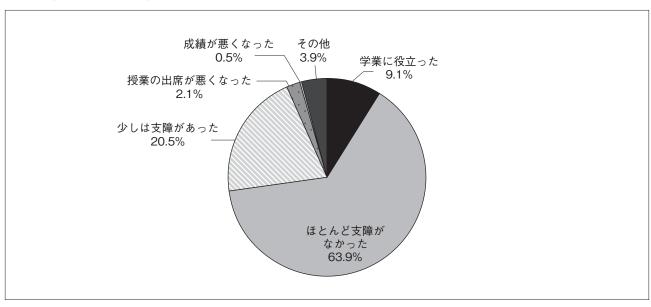


図5-7 アルバイトと学業の関係

第6章 課外活動について

6-1 サークルの加入状況

サークル(部)の加入の有無と加入サークルの種類(複数回答)では、何らかのサークルに加入している学生は66.7%であった。サークルに加入している学生は、平成22年度の64.2%、平成18年度の59%、平成14年度の56.7%に比べて年々増加している。加入しているサークルとして、「学友会所属の文化系」が26.8%(同21.6%)、「学友会所属の体育系」が23.1%(平成22年度23.2%)と多かった。「学友会以外の学内体育系」は12.3%(同13.2%)。「学友会以外の学内文化系」は11.6%(同7.3%)であった。平成22年度に比べて「学友会所属の文化系」が増加し、最も多くなった。学外のサークル活動への参加は、体育系と文化系を合わせて3.8%であり、平成22年度(3.5%)と同様に少数であった。

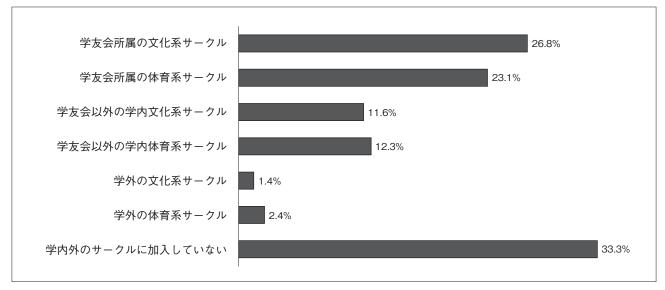


図6-1 サークルの加入状況

6-2 サークルに加入した理由

サークルに加入した理由(複数回答)では、「活動内容が好きだから」が80.8%と最も多く、次いで「友人を得るため」が38.5%と多かった。この2者の順位と割合は、平成22年度とほぼ同様の結果であった。このほかには、「特技向上のため」、「団体活動に興味がある」、「健康増進のため」、「知識・教養を得るため」がそれぞれ $7\sim9\%$ であった。「レクリエーションとして」がやや減少したが、他の結果は平成22年度とほぼ同様であった。

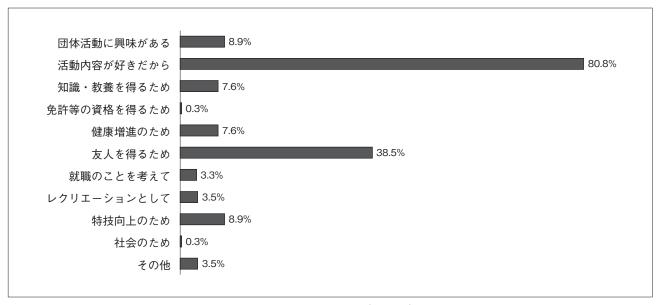


図6-2 サークルの加入理由

6-3 サークル活動と学業

サークル活動と学業の関係について、「学業に影響ない」が57.7%と過半数を占め、次いで「学業を少し犠牲」が23.8%と多かった。今回の順位と割合は、平成22年度(それぞれ52.8%、31.4%)とほぼ同様であった。「学業を少し犠牲」と「学業をかなり犠牲」を合わせると26.5%であった。これは、平成22年度の35.7%と比較すると減少している。「学業に影響ない」、「学業にプラス」、「学業にかなりプラス」を合わせると73.4%であり、平成22年度の64.3%と比較すると増大しており、文科系のサークル参加者数の増加と相関があると思われる。サークルに参加している学生の大半は、サークル活動と学業を両立させていると思われる。

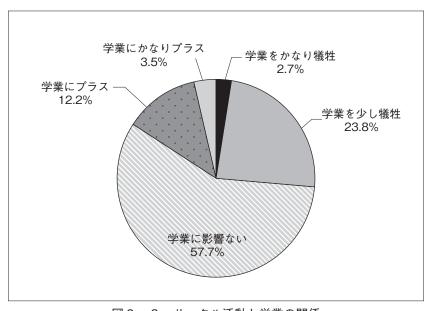


図6-3 サークル活動と学業の関係

6-4 サークル活動の日数と時間

学生がサークル活動をしている1週間当たりの平均日数は2.7日であった。1週間当たりの平均日数は、「 $1 \sim 2$ 日」が55.6%と最も多く、次いで「 $3 \sim 4$ 日」が33.3%、「 $5 \sim 7$ 日」が11.1%であった。1週間に4日以内のサークル活動が88.9%であるが、約10%の学生は、ほぼ毎日サークル活動をしているが、これらの学生におけるサークル活動と学業との関係は明らかではない。また、回答欄に1日未満がないため、サークルに加入しながら、ほとんど活動していない学生も $1 \sim 2$ 日に含まれているものと思われる。

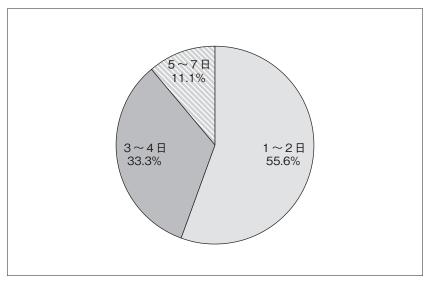


図6-4-1 サークル活動の1週間当たりの平均日数

学生がサークル活動している 1 週間当たりの平均時間は5.5時間であった。平成22年度には5.7時間、平成18年度には6.2時間、平成14年度には6.7時間であったことから、サークル活動の時間は減少する傾向にあった。 1 週間当たりの平均時間は、「 $3\sim4$ 時間」が32.0%と最も多く、次いで「 $1\sim2$ 時間」が29.3%、「 $5\sim7$ 時間」が15.4%であった。平成22年度は、「 $3\sim4$ 時間」が29.1%、「 $1\sim2$ 時間」が25.5%、「 $5\sim7$ 時間」が18.0%であった。 1 週間に10時間以内のサークル活動が86.7%であり、平成22年度(83.5%)とほぼ同様であった。平成22年度と同様に、約3%の学生は週に20時間以上のサークル活動をしているが、これらの学生におけるサークル活動と学業との関係は明らかではない。また、平成22年度と同様に、サークルに加入しながら、ほとんど活動していない学生が約4%みられた。

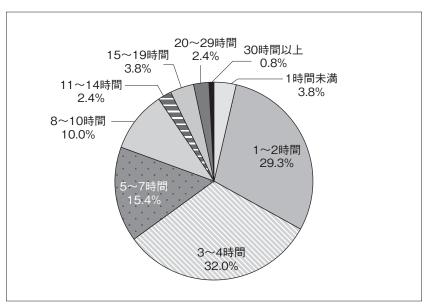


図6-4-2 サークル活動の1週間当たりの平均時間

6-5 課外活動施設の満足度

課外活動を行う施設の満足度では、「非常に満足」が41.7%、「満足」が27.6%であり、この両者を合計すると69.3%と約7割であった。平成22年度には、「満足」が36.7%、「非常に満足」が16.0%、合計が52.7%であり、平成18年度には、「満足」が31%、「非常に満足」が14%、合計が45%であった。また、今回の「不満」は5.7%、「非常に不満」は3.0%、合計は8.7%であった。平成22年度には、「不満」は8.9%、「非常に不満」は2.3%、合計は11.2%であり、平成18年度には、「不満」は17%、「非常に不満」は7%、合計は24%であった。このことから、課外活動を行う施設は順調に改善されつつある。

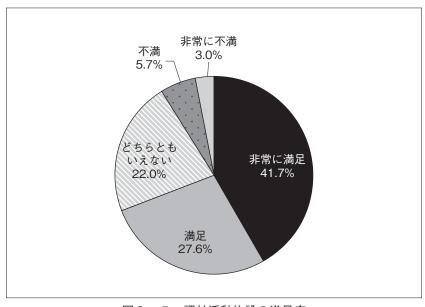


図6-5 課外活動施設の満足度

6-6 サークルに加入していない理由

サークルに加入していない理由(複数回答)として、「時間がない」が21.0%、「特別な理由がない」が19.1%であり、両者を合計すると40.1%であった。平成22年度には、「時間がない」が21.9%、「特別な理由がない」が15.5%であり、「特別な理由がない」が増加している。「学業の妨げとなる」、「興味のあるサークルがない」、「拘束されたくない」は10%前後で平成22年度と同様な傾向であったが、サークル加入に対する魅力が低下しているように思われる。

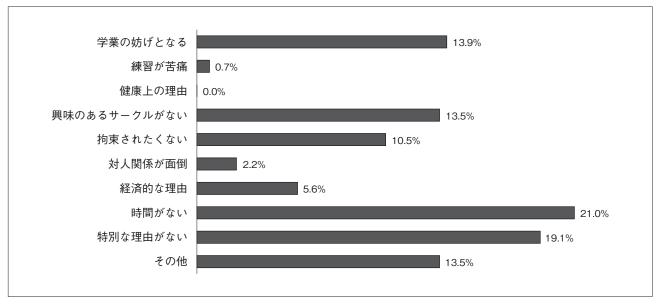


図6-6 サークル活動に参加していない理由

第7章 健康・悩みについて

7-1 定期健康診断の受検

図7-1a、図7-1bに示すように、「定期健康診断は毎年受検しなければいけないことを知っていますか」との設問に対して、学部生の88.2%、大学院生の99.2%が「はい」と回答し、概ねの学生が定期健康診断(以下、定期健診)の受検義務について理解していると考えられた。なお前回(4年前)の調査では、「はい」との回答が学部生の79.8%、大学院生の80.7%で、今回の結果と比較すると受検義務を理解している学生の割合が増加していた。この理由として、保健管理センターホームページや定期健診についての、のぼりやチラシによる周知、前回の調査時には行われていなかったが、未受検者個人への健診予約システムを利用した受検勧奨のメール通知、また特に受検率の低い学部への受検勧奨の通知等による効果が大きいと考えられた。

定期健診は学校保健安全法で受検義務が定められており、受検義務の周知に関する取り組みを強化する ことで、受検率の向上が期待できる。

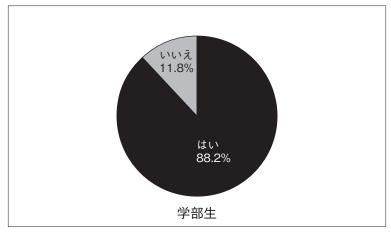


図7-1a

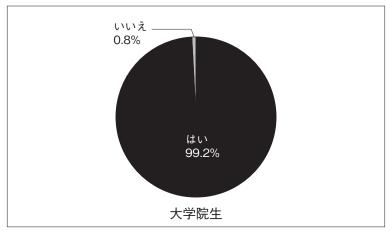


図7-1b

7-2 睡眠時間

平日の睡眠時間については、図7-2a、図7-2bに示すように学部生、大学院生とも6時間が最も多く、学部生の約9割、大学院生の約8割が $5\sim7$ 時間の睡眠時間であった。この睡眠時間については、年齢を考慮してもほぼ適切であると考えられた。

しかし、3時間未満や、9時間以上の学生も割合は小さいながら認められた。これらは、睡眠不足や過 眠症などの睡眠障害が疑われる。

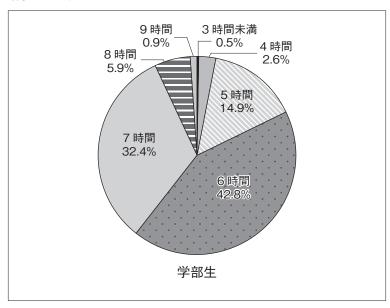


図7-2a

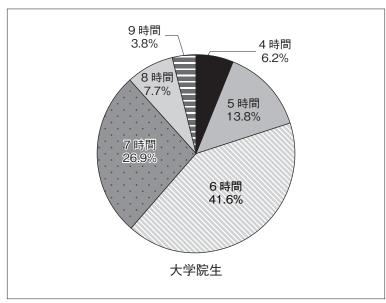


図7-2b

7-3 感染症

図7-3に示すように、「大学生にも流行する次の感染症について詳しく知りたいものは何ですか」との設問に対して、学部生、大学院生ともインフルエンザへの関心が約70%と最も多かった。

インフルエンザについては、例年流行する身近な感染症であることが要因であると考えられた。また学内で実施しているインフルエンザワクチン接種事業も、関心度に影響していると思われた。

これに対し、他の学校感染症に対する関心は低く、前回の調査とほぼ同様な結果であった。

今後は、感染症の特徴や予防方法、早期発見の重要性、また無関心によって生じるリスク等について教育・啓発する必要があると考えられた。

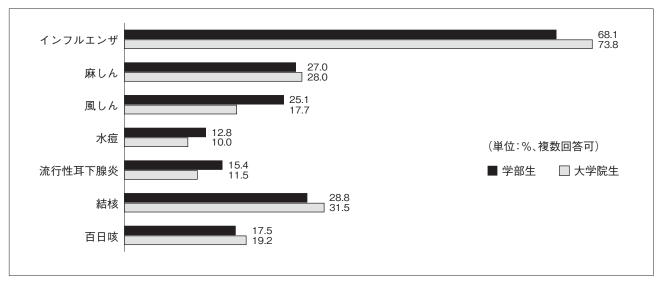


図7-3

7-4 悩み

「現在悩んでいることがあるか」の問いには、「ある」が54.8%と過半数を占め、前回(53.2%)とほぼ同様であった。学年別では表7-1に見られるように、学部生では1年生が低く、3年生が高く前回同様であった。大学院生では前回(1年生)と異なり2年生が高く、前回同様3年生が低かった。男女別では表7-2に見られるように、学部では男女に顕著な差はないが、大学院では女性の方が多いという前回と同様の傾向であるが、大学院の女性の悩みのある割合は、前回(60.0%)は学部生よりも高かったが、今回は減少し、学部生より低くなっている。

	致 / 一	1 子牛加。	国をひめるも	V) (70)	
学部生	ある	ない	大学院生	ある	ない
1年	51.3	48.7	1年	46.3	53.7
2年	61.4	38.6	2年	49.1	50.9
3年	62.5	37.5	3年	40.0	60.0
4年	58.3	41.7	4年	-	-
5年	-	-	5年	-	-
6年	-	-	6年	-	-
全体	57.0	43.0	全体	47.7	52.3

表 7-1 学年別・悩みのあるもの(%)

n<5の学年は比率を示さなかった。

学部生	ある	ない	大学院生	ある	ない
男子	57.2	42.8	男子	45.1	54.9
女子	56.7	43.3	女子	53.8	46.2
全体	57.0	43.0	全体	47.7	52.3

表7-2 男女別・悩みのあるもの(%)

悩みの原因(複数回答、3つまで)では、図7-4に見られるように、「将来の進路」が大学院生で77.4%、学部生で63.1%と最も高く、前回(大学院72.1%、学部67.9%)よりさらに増えている。一方「勉学」自体に悩みを持つものは学部生では54.4%と前回(56.2%)同様であるが、大学院生では43.5%と前回(55%)よりは減少している。

それ以外の原因では、学部生と大学院生では傾向がやや異なり、学部生で多い「自分の性格」、「異性関係」が大学院生では減り、精神的な成長が伺える。学部生で0.4%の「セクハラ」、「アカハラ」による悩みが前回同様大学院生で3.2%と増えている。「セクハラ」または「アカハラ」を受けたことがある者の比率は表7-3に見られるように、大学院生で8.5%(前回7.8%)と学部生の3.3%(前回3.3%)の倍以上となっている。ほぼ前回同様の結果である。

さらに「セクハラ」又は「アカハラ」を誰から受けたか(複数回答、2つまで)についてみると、表7-4に見られるように、大学院生では教員からの被害が81.8%と前回(71.4%)より割合がさらに増加していた。また、事務職員からの被害も27.3%と前回(9.5%)より増加しており、それぞれ継続的な対策が必要であることを示している。

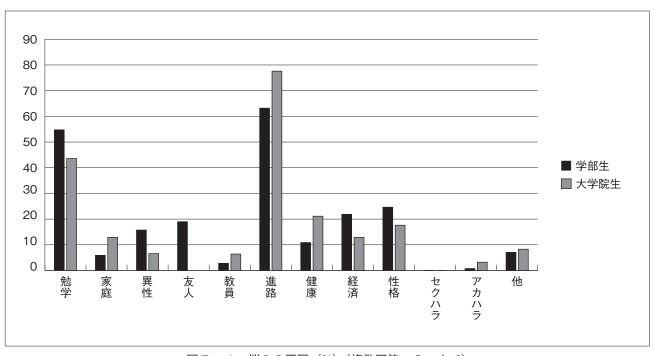


図7-4 悩みの原因(%)(複数回答、3つまで)

勉学: 勉学上 家庭: 家庭のこと 異性: 異性関係 友人: 友人関係 教員: 指導教員との関係 進路: 将来の進路 健康: 健康上 経済: 経済的なこと 性格: 自分の性格

セクハラ:セクシュアル・ハラスメント アカハラ:アカデミック・ハラスメント 他:その他

表7-3 セクハラ、アカハラの経験(%)

	ある	ない
学 部 生	3.3	96.7
大学院生	8.5	91.5
全体	4.5	95.5

表7-4 セクハラ、アカハラの加害者(%)(複数回答、2つまで)

	教員	事務	研究室	サークル	同級生	友人	家族	他
学 部 生	14.3	7.1	0.0	7.1	21.4	7.1	7.1	50.0
大学院生	81.8	27.3	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0

事務:事務職員 研究室:研究室仲間 サークル:サークル仲間 同級生:同級生・先輩

家族:家族・親戚 他;その他

これら悩みの解消方法(複数回答、2つまで)としては、図7-5に見られるように、「先輩・友人等に相談」と「自分一人で解決するように努力」が圧倒的に多く、次いで「家族に相談」であるが、「解決方法がわからない」とする回答も1割強みられている。一方で、「学生相談窓口」、「学生相談ルーム」、「保健管理センター」あるいは「教員」に相談するものは合わせて僅か6.6%しかいなかった。これらは概ね前回と同じ傾向であり、これら大学の相談機能は学生の大部分の悩みに対してあまり役立つと思われていないという状況が見てとれる。悪徳商法や詐欺被害への対処に関しても学内での相談割合は同様の状況(12.6%)であり、悩みに対して役立つと学生から思ってもらえる相談窓口たり得る方策が必要である。

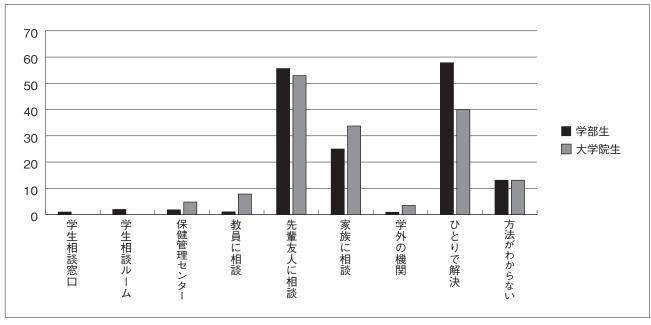


図7-5 悩みの解消法(%) (複数回答、2つまで)

7-5 悪徳商法や詐欺被害

表7-5 悪徳商法や詐欺被害の経験(%)

	ある	ない
学 部 生	2.6	97.4
大学院生	3.8	96.2
全体	2.9	97.1

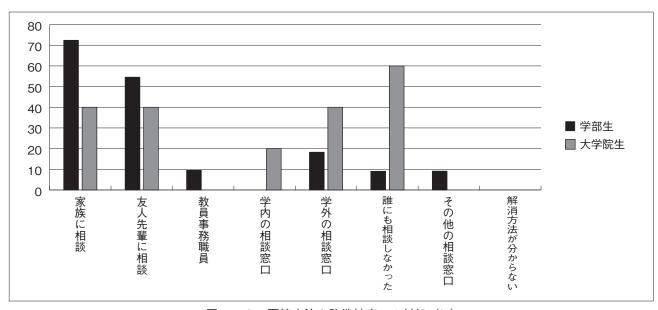


図7-6 悪徳商法や詐欺被害への対処(%)

第8章 大学生活について

8-1 新潟大学と所属する学部・研究科の教育理念・教育目標

これは、今回初めて設定した設問である。いずれの設問でも、知っているとする回答は約3分の1もあった。新潟大学に入学した理由で「本学の特色・学風」と回答した学生が約12%であることを考慮すると、理念や目標を反映したカリキュラムや毎日の授業を通して理解していったのであろうか。

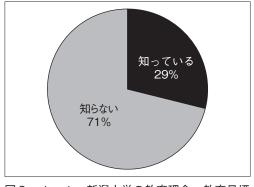


図8-1-1 新潟大学の教育理念・教育目標

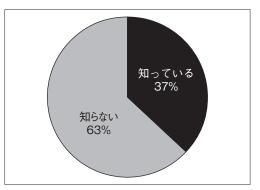


図8-1-2 所属学部・研究科の教育理念・教育目標

8-2 登校日数

登校日数は週5日とするものが約60%であり、多くの学生は学業を中心とした規則正しい生活を送っているものと考えられる。しかし、週 $0\sim2$ 日しか大学に登校しない学生が7.2%もおり、週3日登校する学生も含めた10%程度の学生には、適切な学生指導の必要性がうかがえた。一方、週7日という学生も約4%もいた。研究上の必要もあろうが、学生の心身の健康維持には、教員も学生生活にも注意を払う必要があろう。

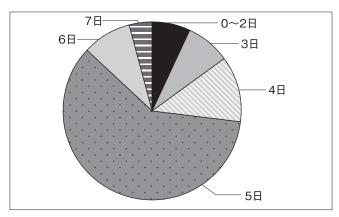


図8-2 大学に登校する日数

8-3 自習時間

授業以外の1日平均自習時間は「30分-1時間未満」が19.5%、「1時間-2時間未満」が28.1%で、前回調査とほぼ同様にこの両者で学生の約半数を占めた。大学の授業は、十分な授業時間外の学習を前提としている。曜日や科目によって、学生によって授業数に違いはあろうが、2時間以上の十分な自習時間を確保しているものは46%程度であり、約半数の学生は自習時間を確保している。特に、「ほとんどしない」「30分未満」の学生は合わせて約10%で、前回調査の20%より向上しているが、1時間未満の学生もまだまだ多く、引き続き教育内容や方法を見直し、学習に対する学生のモチベーションを高める工夫が望まれる。

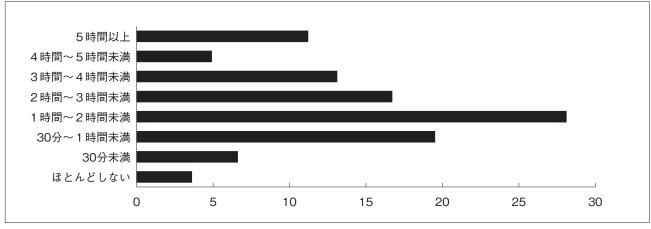


図8-3 授業時間以外の自習時間の割合(%)

8-4 学業以外の過ごし方

学業以外(サークル活動、アルバイトを除く)の過ごし方は、「パソコン」が43%と最も多く、以下、「テレビ・ビデオを見る」「ゲームをする」「音楽を聴く」であった。これらの項目には、パソコンだけでなくスマートホンやタブレット端末を利用しての過ごし方も含まれていると思われ、今後は設問や回答の選択肢に工夫が必要であろう。過ごし方には、さらに「ぼんやり過ごす」「読書」「友人とおしゃべり」「散歩・ショッピング」が続いた。主に自分が使用できる自動車を所有している学生に対して、「ドライブ・ツーリング」と回答したものは少数であり、堅実な使用法をしていると思われる。

ほとんどの学生がスマートホンを所有し、完全ではないが、学業以外のさまざまな目的で活用している 状況が垣間見られた。インターネットで加害者・被害者にならないよう、パソコンだけでなくスマートホ ンを含めたセキュリティーに関する教育、ソーシャルネットワーキングサービスにおける個人情報の流出 による被害・加害などに対する教育の充実が必要と考えられた。「新聞を読む」「娯楽雑誌を読む」学生は 合わせても約6%少なく、現代では情報のリソースは印刷物からインターネット、特にスマートホンに移 り変わってきているのであろう。

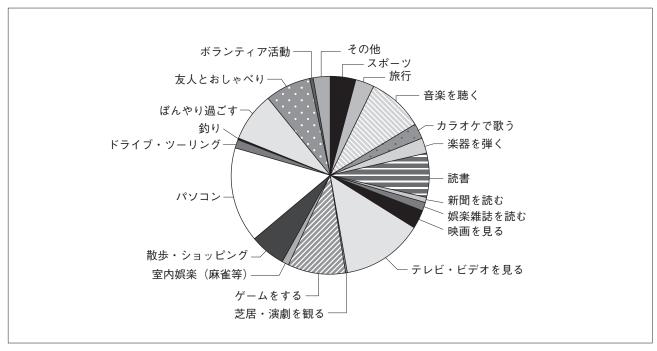


図8-4 学業以外の過ごし方

8-5 ボランティア活動

生活の一部としてボランティア活動に参加している学生は、「学業以外の過ごし方」に関する調査結果から2%に過ぎないが、大学入学後にボランティア活動に参加したことがあるものは全体の23.3%であり、約1/4の学生が何らかの形でボランティア活動を経験していた。活動分野としては「教育・文化・学術関係」が最も多く、以下、「社会福祉関係」「地域親交関係」「環境保護関係」が続いた。これまでは「災害復興(支援)関係」が多かったが、今回調査では9.3%と減少した。少子高齢化や地球温暖化など近年の社会問題を背景に、関連した活動に参加したものと考えられ、社会に対する学生の関心の高さがうかがえた。

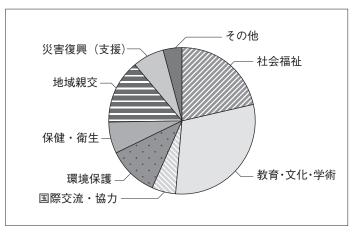


図8-5 ボランティア活動分野

8-6 海外旅行

大学入学後に海外旅行をしたことがある学生は全体の16.8%であり、前回調査とあまり変わらないが、「観光」目的の海外旅行は46.2%と減った。変わって、「語学研修」「6か月間以上の留学」「学術調査」「学会参加」とする学業に関連した旅行を行っているものが38.9%、「課外活動」「社会活動」を含めるとほぼ50%が観光以外である。

費用については、「アルバイトによる収入」「父母からの援助」「そのための貯金」で約80%を占め、この割合は前回調査と同様であった。グローバル社会を迎えた現代では、国際性を育むために、また日本にいては気づかない広い視野を獲得させるために、学生に海外でさまざまな経験を積ませることは意義あることと考えられる。大学院生はもとより、学部生に対しても、費用を含めた積極的な取り組みが大学に期待される。

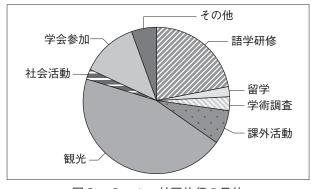


図8-6-1 外国旅行の目的

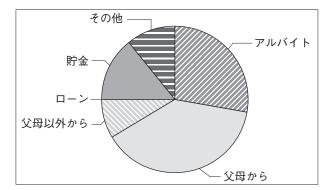


図8-6-2 外国旅行の費用

8-7 読書

読書(漫画、雑誌を除く)は、1か月に「1~4冊」が全体の3分の2を占め、一方で「10冊以上」読んでいるものも3.8%いた。しかし、「その他」と回答した学生も20%程度認められた。この「その他」が、印刷媒体でない電子書籍を意味するのか否かは明らかではないが、1か月に1冊も読書しないものも相当数含まれると考えられ、学生の活字離れを表しているのかもしれない。

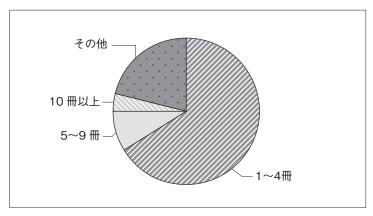


図8-7 1か月の読書量

8-8 本学に入学した理由と大学生活の重視していること

本学に入学した理由はさまざまで、「入試センター試験の結果をみて」「実力相応と思った」「浪人したくなかった」など消極的な理由によるものと、「自分の好む専攻分野がある」「将来の進路を考えて」「大学の特色・学風」など積極的な理由によるものとがみられた。また、「地元である」との理由から入学した学生も15%程度あり、受験生の地元志向がうかがえた。

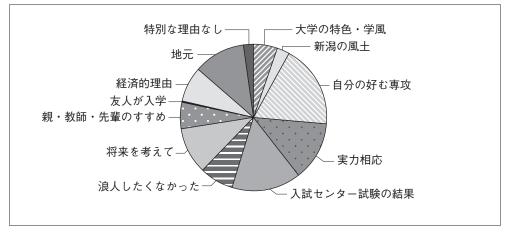


図8-8-1 入学理由

大学生活で重視していることとしては、大多数の学生が「勉強や研究」「豊かな人間関係を結ぶこと」としており、有意義な大学生活を送っているものと推察された。しかし、「アルバイトや貯金」「特になし」とするものも少数ではあるが存在し、大学生活の本来の意義を見出せていない学生もみられた。このことは入学理由と関係しているかもしれず、新入生に特色ある初年次教育を提供し、大学の魅力を実感させ、高等学校から大学への円滑な移行を図る工夫が必要であろう。

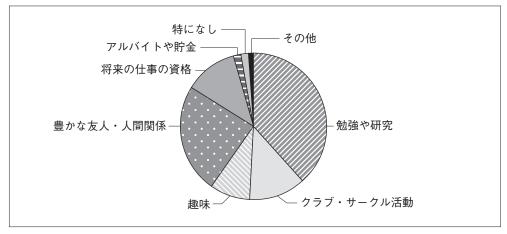


図8-8-2 学生生活で重視していること

8-9 新潟大学に対する満足度

新潟大学に対する満足度については、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた割合は全体の81%で、前回調査の85%よりやや減った。前々回の調査での74%よりは良好だが、満足はしていない8%の学生を含め、この4年で減った理由を明らかにする必要があるだろう。

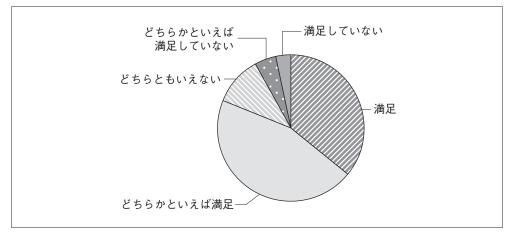


図8-9 新潟大学に対する満足度

8-10 新潟大学の魅力

新潟大学の魅力については、キャンパスの広さが1位で、大学の特色・学風がそれに続く、という結果になった。回答項目の「キャンパスの広さ」と「キャンパスの緑」は、大学の自然環境や物理環境、「大学の特色・学風」や「大学の風土」は、大学の精神的・歴史的特性としてまとめることができるが、このようにまとめた場合、それぞれを51.5%、48.3%が占めるというように見ることもできる。一方、新潟大学の魅力として「充実した設備」と「充実したスタッフ」を挙げた学生は、28.1%であった。これは、少ない値のように思われるが、大学の特色とも関連している内容であり、また、前回調査の17%、前々回調査の6%より増加している。今後、いっそう設備やスタッフの充実を図り、新潟大学の魅力をさらに高めていく必要があるだろう。

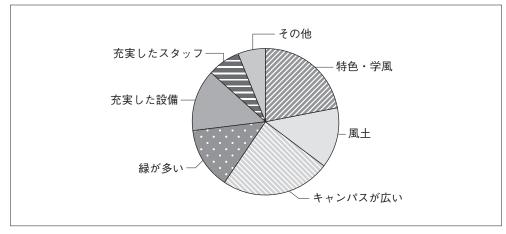


図8-10 新潟大学の魅力

第9章 大学の施設・設備について

9-1 施設の広さや機能(質)の満足度

所属する学部・研究科の教育・研究施設(研究室、実験室、講義室)の広さや機能(質)の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると63.1%で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は17.9%であった。(図9-1-1)

福利厚生・共通施設(食堂、体育施設等)の広さや機能(質)の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」が61.7%で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は13.6%であった。(図 9-1-2)

屋外環境施設(駐輪場、広場)の広さや機能(質)の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」が57.7%で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は 14.1%であった。(図 9-1-3)

教育・研究施設、福利厚生・共通施設、屋外環境施設それぞれの広さや機能(質)の満足度については、 互いに似たような結果が得られた。それらの3つの質問項目をまとめると、約60%の学生が満足しており、 約15%の学生は満足していないと見ることができる。前回の調査では、満足は70%近かったので若干数値 が下がったようであるが、満足していない学生は前回調査の数値(約25%)よりおよそ10ポイント低下し ており、全体的には大きな変化はないと思われる。

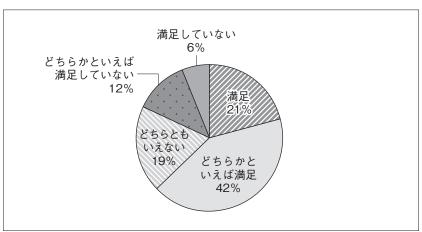


図9-1-1 教育・研究施設の満足度

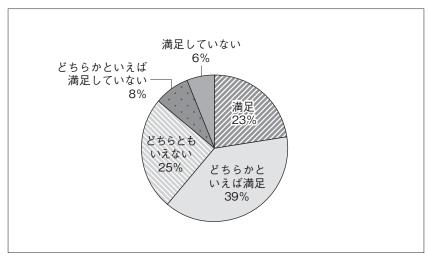


図9-1-2 福利厚生・共通施設の満足度

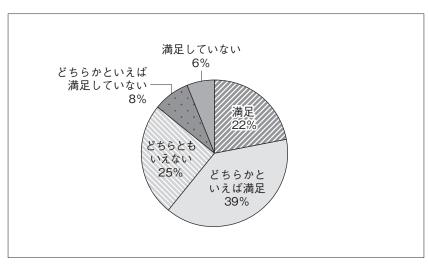


図9-1-3 屋外環境施設の満足度

9-2 図書館の利用頻度、利用目的及び満足度

試験期間以外での図書館の利用は、「週に $1\sim3$ 日」が30.7%と最も多く、以下、「ほとんど利用しない」 (23.9%)、「月に $1\sim2$ 日」 (17.7%)、「月に $3\sim4$ 日」 (15.0%)が続いた。「週に $1\sim3$ 日」以上の頻度でよく利用する学生は43.4%であるのに対し、「ほとんど利用しない」または「月に $1\sim2$ 日」とほとんど図書館を利用しない学生もほぼ同じくらい(41.6%)見られた(図9-2-1)。前回の調査では、「ほとんど利用しない」が35.5%と最も多かったが、今回はそれが10ポイント以上低下した。これは平成25年4月に図書館がリニューアルされ、学生の学習スタイルにあわせて利用できる施設となったためと考えられる。図書館の利用目的については、「自習」が60.6%、「図書」が55.0%と圧倒的に多く、続いて「パソコンの利用」が25.7%、「文献検索」が16.3%が多かった。「CD・ビデオ」は1%にも満たず、学生の学習ニーズに合致していないと思われる。(図9-2-2)

図書館の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると85.0%で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は5.4%であり、図書館の満足度は

高いと言える。(図9-1-1)

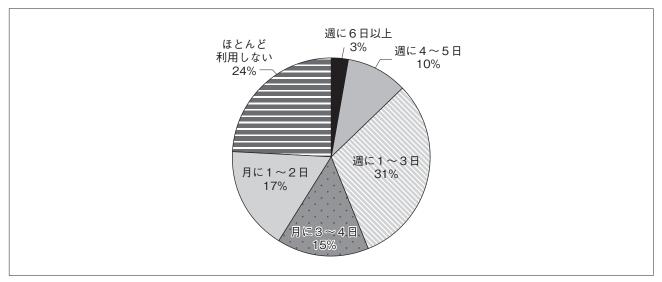


図9-2-1 図書館の利用頻度

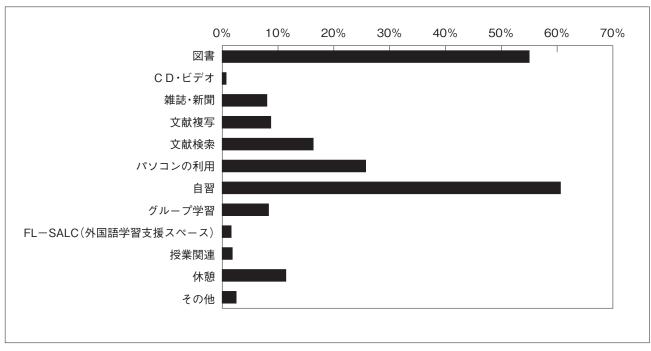


図9-2-2 図書館の利用目的(回答3つ以内)

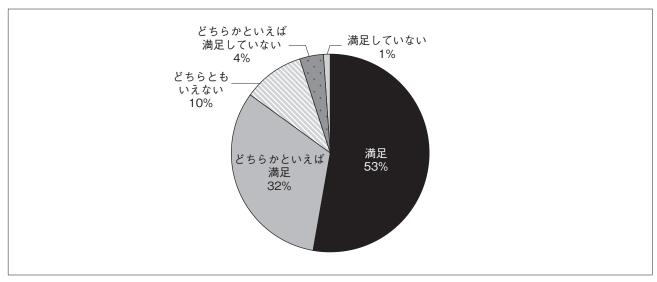


図9-2-3 図書館の満足度

9-3 ICT環境 (インターネット、メール等)

新潟大学のICT環境(インターネット、メール等)についての満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」が76.1%で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は6.1%であった(図9-3-1)。ICT環境の満足度は高いと言える。

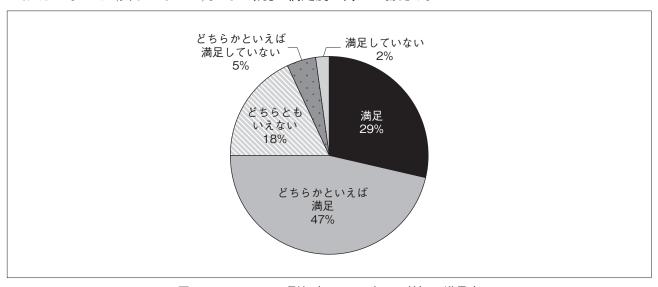


図9-3-1 ICT環境 (インターネット等) の満足度

9-4 施設等に対する不満

新潟大学全体の施設等にどのような不満があるか、13の選択肢の中から3つ以内で選択してもらったところ、1位は「食堂が利用しにくい」(26.2%)、2位は「校舎の利用が制限されている」(26.0%)、3位は「休憩場所がない」であった。これらは前回の調査でもトップ3にランクされていた。具体的にどのようなことが問題なのかを明らかにして改善策を検討することが望まれる。その他の不満も少なからず見られたが、いずれも20%未満であった。

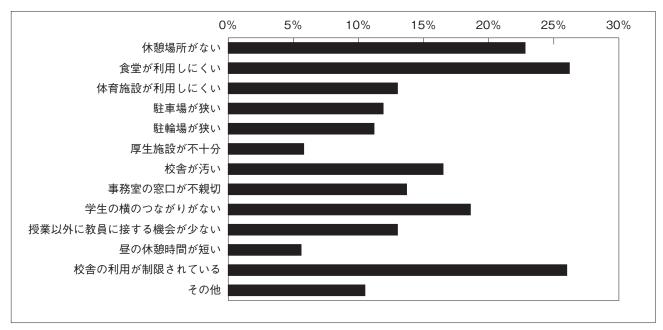


図9-4-1 施設等に対する不満(回答3つ以内)

第10章 授業について

10-1 カリキュラムに対する満足度

現在のカリキュラムに対する満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると78%となり、満足度はかなり高いと言える(図10-1-1)。「満足していない」と「どちらかと言えば満足していない」の合計は8%であった。前回の調査では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」は80%で、「満足していない」と「どちらかと言えば満足していない」は20%であった。今回の調査では現行カリキュラムに対して満足している学生の割合はほぼ同じであったが、満足していない学生の割合が大幅に減少していた。本学はこれまで、授業科目の全学科目化、分野・水準表示法(ベンチマーク)の導入・改善、副専攻制度の導入・改善など、全国の大学に先駆けて教育改革を行ってきた。特に主専攻プログラム化は、それぞれの教育プログラムを到達目標明示型の教育プログラムに再編し、当該プログラムの概要、到達目標、カリキュラムマップ、カリキュラムの方針などを明示したプログラムシラバスを作成・公表している。各主専攻プログラムはこのプログラムシラバスを毎年検証し、改善を図っており、結果として教育の質と責任を担保していることが、カリキュラムに対する満足度に現れていると解釈することができる。

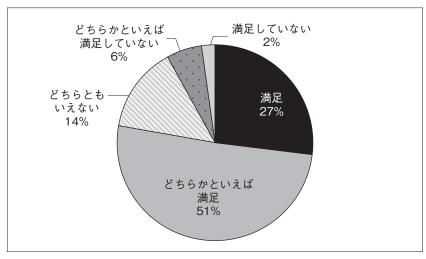


図10-1-1 カリキュラムに対する満足度

10-2 授業への出席、授業の理解度及び授業に対する満足度

今回の調査では、「75%以上」出席している学生の割合は97.3%、「50%未満」の学生は1.1%であり、良好な結果と思われる(図10-2-1)。また、「 $50\sim74\%$ 」というボーダーライン上の学生も1.6%と少なかった。前回の調査では、授業への出席の程度を、「出席している」、「どちらかといえば出席している」という形式で質問していたため、今回の調査結果とは直接比較できないが、それらの合計は96%であった。

授業の理解度については、「90%以上」理解している学生は24.8%、「75%以上」は74.1%であった(図10 - 2 - 2)。また、「50%未満」しか理解していない学生は2.2%と少なかった。今回の調査結果とは直接比較できないが、前回は「どの授業も全般的に理解している」と「理解できないものが多少ある」の合計が92%であった。学生の主観的な理解度であることを考慮しても、前回の結果と比較すると、学生の理解度は良くなっているとはいえないかも知れず、今後の推移を見守りたい。

授業に対する満足度については、「90%以上」満足している学生は32.7%であり、「75%以上」とすると75.4%、「50%以上」とすると95.8%の学生が満足と答えた。前回の調査では、「どの授業にも満足している」と「どちらかといえば満足している授業が多い」という質問であり、それらを合わせると84%であった。前回の結果とは直接比較はできないが、満足度はおおよそ同じかやや高くなったかもしれない。

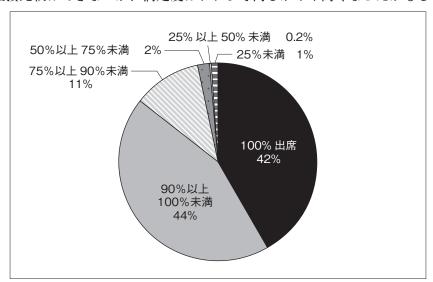


図10-2-1 授業への出席の程度

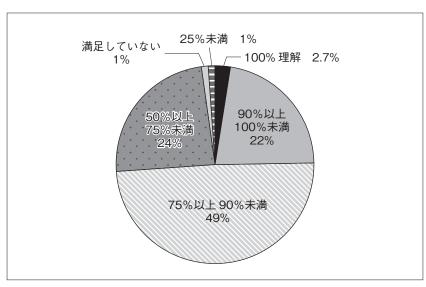


図10-2-2 授業の理解度

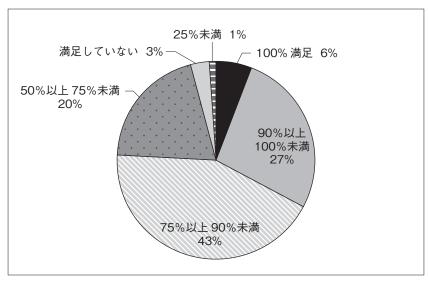


図10-2-3 授業に対する満足度

10-3 授業内容にわからないことがあった場合の対処法

授業内容にわからないことがあった場合どのように対処するかについて、7つの選択肢の中から2つ以内で選んでもらった(図10-3-1)。「授業中に質問する」は少なく、「参考書」で調べる、「友人同士で議論する」、「先輩・友人等に教わる」、「教員に個人的に質問する」が大半を占めた。前回の調査結果も、ほぼこれと同様であった。1位の「参考書」は、最近ではインターネットを介して調べることが多くなっていると考えられる。

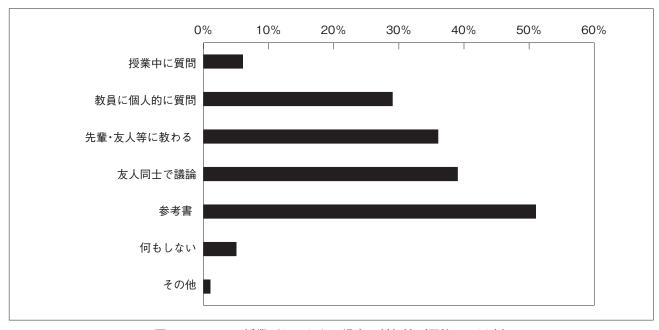


図10-3-1 授業がわからない場合の対処法(回答2つ以内)

10-4 授業に満足していない理由

授業に満足していない学生にその理由を9つの選択肢の中から2つ以内であげてもらった(図10-4-1)。割合の多い順で、「つまらない」、「理解できない」、「(教え方に)工夫が足りない」の3つが主要な理由であった。前回の調査でも上位はこの3つであったが、順位は「つまらない」、「(教え方に)工夫が足りない」、「理解できない」であった。今回の結果は、授業を理解できない学生が増えていることを示唆している。

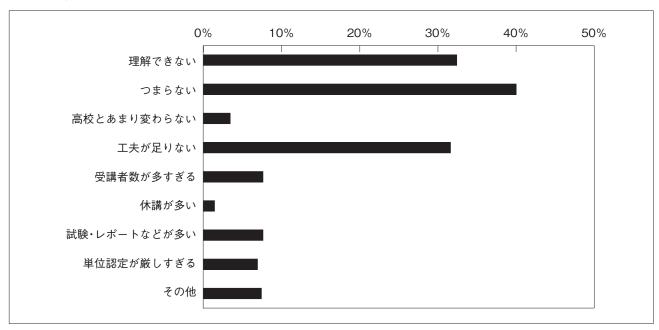


図10-4-1 授業に満足していない理由(回答2つ以内)

10-5 教育研究指導に対する満足度 [大学院学生]

大学院生の教育研究指導に対する満足度については、「満足」および「どちらかといえば満足」を合わせると84.6%であり、「どちらかといえば満足していない」および「満足していない」の合計は4.6%であった。この質問は前回の調査にはないため、過去との比較はできない。しかしながら、学部学生の授業満足に近い数字であり、満足度は比較的高いと言える。

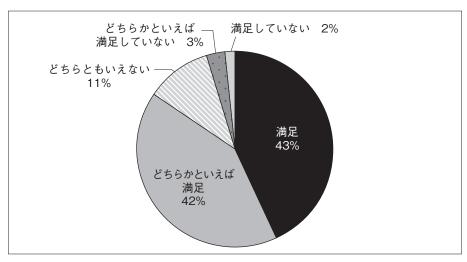


図10-5-1 教育研究指導に対する満足度(大学院)

10-6 教育研究環境(施設・設備等)に対する満足度[大学院学生]

大学院の現在の研究環境に対する満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると68.5%であり、「どちらかといえば満足していない」および「満足していない」の合計は13%であった。前回の調査では、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせると65%、「やや不満」および「不満」の合計は18%であり、わずかではあるが改善している。

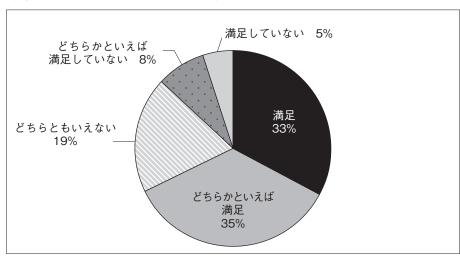


図10-6-1 教育研究環境に対する満足度(大学院)

学生生活実態調査

問1 どの学部・研究科に所属していますか。

単純集計

人文 2. 教育・教育人間 3. 法 4. 経済 5. 理 6. 医医 7. 医保 8. 歯 9. エ 10. 農
 11. 教育研 12. 現社研(前) 13. 現社研(後) 14. 自然研(前) 15. 自然研(後) 16. 保健研(前) 17. 保健研(後) 18. 医歯研(医修) 19. 医歯研(医博) 20. 医歯研(歯前) 21. 医歯研(歯後) 22. 医歯研(歯博) 23. 実法研

-	α	ო	4		9	_	∞	<u></u>	_	$\overline{}$		13	4	15
48	29	49	65	42	5	4	7	81-1	i	101	6	2	74	=
(8.7)	(10.7)	(8.9)	(11.8)	(4.6)	(6.0)	(8.0)	(1.3)	(1.3) (14.6)	(4.2)	(1.8)	(1.6)	(0.4)	(13.4)	(2.0)
16	17	18	19	20	21	22	23	l			·			
7	-	+	+ - ·	·	· ·	9	9	553						
(1.3)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(1.1)	(1.1)	(100.0)						

問2 現在何年生ですか。

6.6年生 5.5年生 4.4年生 3.3年生 1.1年生 2.2年生

2	 හ	4	2	9	ilia
145	93			2	553
(26.2)	(16.8)	(15.4)	(0.2)	(0.4)	(100.0)

問3 性別

 \not ς. 眠.

 =	553	(100.0)
2	l I	(40.9)
ļ	327	(59.1)

問4 実家のあるところはどこですか。

単純集計

	宮城県	東京都	愛知県	島根県	佐賀県	
	ნ	18	27.	36.	45.	
	岩手県	千葉県	静岡県	鳥取県	福岡県	
	ω	17.	26.	35.	44	
	青茶県	埼玉県	岐阜県	和歌山県	高知県	外国
	7	16.	25.	34.	43.	52.
	北海道	群馬県	長野県	奈良県	愛媛県	沖縄県
	9	15.	24.	33.	42	51.
	佐渡市	栃木県	山 梨 県	兵庫県	香川県	鹿児島県
				32.		
	下越地方	茨城県	福井県	大阪府	徳島県	宮崎県
	4	13.	22	31.	40.	49.
0	中越地方	福島県	\equiv	京都府	一口一	大分県
2	თ	12.	21.	30.	39.	48.
ノリリもつ	上越地方	涇	日	滋賀県	嘓	熊本県
j	2	Ξ.	20.	29.	38.	47.
。 ちょししゅうししゅ 多く参比	新潟市	秋田県	神奈川県	三重県	田田県	쿈
t	<u> </u>	10.	19.	28.	37.	46.

	ı		30	-	(0.2)	45	0	(0.0)			
	•	(0.9)	l .	0	(0.0)	44	-	(0.2)			
13	(C)	(0.5)	28	0	(0.0)	43	0	(0.0)			
12	39.	(7.1)	27	9	(1.1)	42	-	(0.2)			
	48	(8.7)	56	2	(0.4)	41	0	(0.0)			
10	24	(4.3)	25	3	(0.5)	40	0	(0.0)			
			24	35	(6.3)	39	-	(0.2)			
ω	5	(6.0)	23	4	(0.7)	38	0	(0.0)	丰	553	(100.0)
7	4	(0.7)	22	· π	(0.5)	37	-	(0.2)	52	0	(0.0)
9	ı	(1.6)		6	(1.6)	36	-	(0.2)	51	ō	(0.0)
5	က် က	(0.5)	20	32	(2.8)	35	-	(0.2)	20	ō	(0.0)
4	41.	(7.4)	19	5.	(0.0)	34	0	(0.0)	49	ō	(0.0)
e 8	58	(10.5)	18	-	(5.0)	33	-	(0.2)	48	0	(0.0)
2	161	(3.4)	17	9	(1.1)	32	2	(0.4)	47	0	(0.0)
-	85.	(15.4)	16	-	(5.0)	31	3	(0.5)	46	ō	(0.0)

問5 家族は何人ですか。(ただし、就職し、かつ別居している兄弟姉妹は除く。)

	553	6
 	55	(100.
6	_	(0.0)
8		(0.5)
	9	(2
_	 	4)
9	4	(8.9)
2	126	(22.8)
4	1901	(34.4)
က	1001	(19.7)
5	39	(7.1)
	; 	2.0)
_		

問6 授業料を負担している人は誰ですか。

1. 本人 2. 家計支持者(あなたの保護者) 3. 家計支持者以外の家族 4. その他

ılıa	i I	(100.0)
4	5	(0.9)
က	 	(0.7)
7	487	(88.1)
-	57	(10.3)

単純集計

問7 主な家計支持者の年間(1月から12月まで)総収入(税込)はどのくらいですか。

6. 1000万円以上 5.800~1000万田未満 1. 200万円未満 2. 200~400万円未満 3. 400~600万円未満 4. 600~800万円未満

 		(100.0)
9		(6.3)
:	99	
2	 	(11.9)
4	=	(21.2)
1	က်	
3	ı	(29.5)
:	ည်	
2		(54.
	39	
-	 	(7.1

問8 現在の住居所在地はどこですか。

5. 公共交通機関で片道1時間以内 4. 旭町地区 寺尾 坂井輪、 3. 坂井、 2. 大野、新通、槇尾 五十嵐、大学南、内野
 その他

(100.0)61 (11.0) 5 37 (6.7) 48 (8.7) 101 თ¦ 3 (0.5) 394 (71.2)

問9 現在の住居はどれですか。

学生寮 9 下宿・借間 2 4. 一戸建て借家 3. バスなしアパート 1. 自宅 2. 台所・バス・トイレ付きアパート・マンション
 7. 親戚・知人宅 8. その他

(100.0)潚 (0.2) ∞ (0.0) (5.4)9 (1.6) 5 3 (0.5) 0.0) თ¦ 100 410 (18.1) (74.1)

問10 通学方法は主にどれですか。

6. オートバイ・スクーター 自動車 2 4. バス 3. 鉄道 2. 自転車 1. 徒歩のみ

+==	$\frac{55}{55}$
9	(1.3)
5	(6.
4	(1.1)
က	57
2	(40.
· - ·	

単純集計

問11 通学に要する片道時間はどのくらいですか。

1.30分末満 2.30分~1時間 3.1~1.5時間 4.1.5~2時間 5.2時間以上

	553 (100.0)
5	(1.6)
4	(2.7)
က	(5.2)
N	(8.0)
-	456 (82.5)

問12 主に自分が使用できる自動車を所有していますか。

1. 所有している 2. 所有していない

+	553	(100.0)
2	378	(68.4)
-	175	(31.6)

問13 朝食・昼食・夕食はどのようにして食べていますか。

5. 学生食堂を利用 自宅(家族等が用意した物を食べる) 2. 自炊 3. コンビニで購入 4. 生協で購入
 6. 学外の食堂等を利用 7. その他 8. 食べない

盂				(100.0)		(100.0)
_∞	109		:	(2.2)	:	(0.4)
_	5	(6.0)		(3.4)		(5.9)
9	က	(0.5)		(4.7)	47	(8.5)
2	100	(1.8)	134	(24.2)	7.7	(1.3)
4				(25.3)		
ო	20	(0.6)	57	(10.3)	38.	(6.9)
α	263	(47.6)	131	(23.7)	330	(26.7)
· - ·	66	(17.9)	34	(6.1)	107	(19.3)
					夕 贪	

問14-1 家計支持者から援助を受けている金額は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1~9千円 3. 10~29千円 4. 30~49千円 5. 50~69千円 6. 70~84千円 7. 85~99千円 8. 100~119千円 9. 120~139千円 10. 140~159千円 11. 160~199千円 12. 200千円以上

12 計	553	(100.0)
12	5	(6.0)
	0	
9	4	(0.7)
	12	
ω		(11.9)
_	7	(1.3)
9	28	(10.5)
2	118	(21.3)
4	74 80	(14.5)
ო	74	(13.4)
2		(3.4)
-	110	(19.9)

単純集計

問14-2 奨学金の貸与(給与)月額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1~9千円 3. 10~29千円 4. 30~49千円 5. 50~69千円 6. 70~84千円 7. 85~99千円 8. 100~119千円 9. 120~139千円 10. 140~159千円 11. 160~199千円 12. 200千円以上 13. 無回答

	~	_
盂	55	(100.0)
13	 	(0.2)
12	2	(0.4)
1		(0.4)
10	2	(0.4)
	ا + - -	
6		(2.2)
	0	(8 (8
ω	 	<u> </u>
7	22	(4.0)
9	24	(4.3)
2	134	(24.2)
	9	
4		(10.1
	ω	(4
က	 	Ξ.
	4	2)
2	 	(2
	266	(48.1)

問14-3 家庭教師によるアルバイト収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1~9千円 3. 10~29千円 4. 30~49千円 5. 50~69千円 6. 70~84千円 7. 85~99千円 8. 100~119千円 9. 120~139千円 10. 140~159千円 11. 160~199千円 12. 200千円以上

<u>+</u>		(100.0)
12	 	(0.0)
-	0	(0.0)
10	 	(0.0)
<u> </u>	 	(0.0)
	0	(0.0)
7	0	(0.0)
9	0	(0.0)
- +	 	.2)
	 	<u> </u>
4	 	(1.4
ო	26.	(4.7)
	7.	1.3)
α 		(1
-	51	(92.4

問14-4 家庭教師以外のアルバイトによる収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1~9千円 3. 10~29千円 4. 30~49千円 5. 50~69千円 6. 70~84千円 7. 85~99千円 8. 100~119千円 9. 120~139千円 10. 140~159千円 11. 160~199千円 12. 200千円以上

(100.0)(0.4) (0.2) (0.2) (0.4) (0.5) 282 282 (51.0) (4.8

家計支持者以外から援助を受けている金額は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。 問14-5

1.0円 2.1~9千円 3.10~29千円 4.30~49千円 5.50~69千円 6.70~84千円 7.85~99千円 8.100~119千円 9.120~139千円 10.140~159千円 11.160~199千円 12.200千円以上

問14-6 その他(【問14-1】~【問14-5】以外)の収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1~9千円 3. 10~29千円 4. 30~49千円 5. 50~69千円 6. 70~84千円 7. 85~99千円 8. 100~119千円 9. 120~139千円 10. 140~159千円 11. 160~199千円 12. 200千円以上

553 (100.0) (2.0) (0.4) (0.2)(0.5) (0.0) (0.0) (0.7) 5 (1.1) (1.4) 21 (3.8) (89.5)

問15 (問14-2で奨学金による収入について記入した人) 奨学金はどこから受けていますか。(全て)

単純集計

その他 2 1. 日本学生支援機構(第一種) 2. 日本学生支援機構(第二種) 3. 地方公共団体 4. 民間団体

対象者	287	
2	l I	(4.5)
4	5.	(1.7)
က	i I	(4.9)
5	l I	(42.2)
-	l I	(56.1)

問16-1 住居費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1~9千円 3. 10~29千円 4. 30~49千円 5. 50~69千円 6. 70~99千円 7. 100~149千円 8. 150千円以上

		(100.0)
8	 	(0.4)
7	က	(0.5)
9	21.	(3.8)
2	91	(16.5)
4	, (VI	(47.6)
3	8	(14.5)
	13	(2.4)
	ω	(14.5)

問16-2 食費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1~9千円 3. 10~29千円 4. 30~49千円 5. 50~69千円 6. 70~99千円 7. 100~149千円 8. 150千円以上

 =	55	(100.0)
8		(0.0)
7	e	(0.5)
9		(0.7)
5	12	(2.2)
4	182	(32.9)
1	289	(52.3)
2	4	(8.0)
1	19	(3.4)

問16-3 勉学費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

4.30~49千円 5.50~69千円 6.70~99千円 1.0円 2.1~9千円 3.10~29千円 7.100~149千円 8.150千円以上

1111111	52	(100.0)
ω	 	(0.0)
7	0	(0.0)
-		(0.0)
(Д)	5.	(0.0)
4	9	(1.8)
က	155	(28.0)
2	303	(54.8)
-	80	(14.5)

問16-4 娯楽費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

4. 30~49千円 5. 50~69千円 6. 70~99千円 1. 0円 2. 1~9千円 3. 10~29千円 7. 100~149千円 8. 150千円以上

+ =	55	(100.0)
8	i I	(0.0)
7	 	(0.2)
9		(0.0)
2		(5.0)
4	4	(7.2)
	l I	(20.8)
2	20.	(36.5)
-	-	(3.3)

問16-5 被服費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

単純集計

1. 0円 2. 1~9千円 3. 10~29千円 4. 30~49千円 5. 50~69千円 6. 70~99千円 7. 100~149千円 8. 150千円以上

16.3) (52.6) (29.8) (0.7) (0.5) (0.0) (0.0) (0.0)	1	553	(100.0)
16.3) (52.6) (29.8) (0.7) (0.5) (0.0) (0.0)	ω	0	_
16.3) (52.6) (29.8) (0.7) (0.5) (0.0)		0	(0.0)
16.3) (52.6) (29.8) (0.7) (0.5)		0	
16.3) (52.6) (29.8) (0.7) (0.7)		် (၁)	
10.3) (52.6) (29.8)		4	
1. 2	4	 	
1 90 (16.3)	က	 	
1 90	2	i	(52.6)
1 ;	-	06	(16.3)

問16-6 通学費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1~9千円 3. 10~29千円 4. 30~49千円 5. 50~69千円 6. 70~99千円 7. 100~149千円 8. 150千円以上

市	553	(100.0)
ω	 	(0.0)
		(0.0)
9		(0.0)
5		(0.2)
4	4	(0.7)
	48	(8.7)
0	2	(12.7)
	430	(8.77

問16-7 その他雑費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1.0円 2.1~9千円 3.10~29千円 4.30~49千円 5.50~69千円 6.70~99千円 7.100~149千円 8.150千円以上

抽	52	(100.0)
8	-	(0.2)
	2	(0.4)
9	0	(0.0)
2	5.	(0.9)
4	!	(4.5)
ო	. (1	(42.7)
α	1	(38.7)
-	70	(12.7)

問16-8 預貯金のための1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

5. 50~69千円 6. 70~99千円 1. 0円 2. 1~9千円 3. 10~29千円 4. 30~49千円 7. 100~149千円 8. 150千円以上

+	55	(100.0)
ω	-	(0.2)
7	 	(0.2)
9	 	(1.3)
5	 	(4.3)
L .	 	(2.6)
	16	(29.1)
2	9	(11.9)
-	26	(47.4)

問17 大学入学後アルバイトをしたことがありますか。(全て)

1. 長期 2. 短期 3. 休業期間に限って 4. 全くしたことがない

ilia	553	(100.0)
4		(20.8)
က	1	(3.6)
ς,		(17.5)
	1	(28.0)

(問17でアルバイトをしたことがあると答えた人)アルバイトをした理由はどれですか。(2つ以内) 問18

単純集計

その他 . 0 5. 社会経験 こづかい・臨時の支出 4. 家族からできるだけ自立 1. 家庭の経済的負担を軽減 2. 学業を継続 3.

438	
17	(3.9)
178	(40.6)
48	(11.0)
293	(6.99)
35	(8.0)
139	(31.7)
	35 293 48 178 17 4

(問17でアルバイトをしたことがあると答えた人)アルバイトの職種はどれですか。(2つ以内)

7. 飲食業 (ファミレス・居酒屋) 6. 肉体労働 4. 調査・技術 5. 販売・サービス 3. 一般事務 2. 学習塾講師 1. 家庭教師 8. その他

対象者	l !	
8	84	(19.2)
7	4	(33.3)
9		(18.0)
2	147	(33.6)
4	14	(3.2)
က	25	(2.7)
2	71	(16.2)
-	49	(11.2)

問20 (問17でアルバイトをしたことがあると答えた人)アルバイトの1週間の平均就労日数は何日くらいですか。

3.5日~7日 2.3日~4日 1.1目~2日

対象者	438	
က	32	(7.3)
2	191	(43.6)
-	l I	(49.1)

問21 (問17でアルバイトをしたことがあると答えた人)アルバイトの1週間の平均就労時間は何時間くらいですか。

3.10~19時間 4.20~29時間 5.30~39時間 6.40~49時間 7.50時間以上 1.5時間未満 2.5~9時間

対象者	43	
7	2	(0.5)
9	 	(0.0)
5	5	(1.1)
4	32	(7.3)
3	96	(21.9)
2	9	(41.8)
	_	(26.5)

(問17でアルバイトをしたことがあると答えた人) アルバイトの収入は何に使いましたか。(2つ以内)

単純集計

その他 10. 9. 預貯金 6. 耐久消費財 7. 旅行 8. 資格等取得 5. 課外活動 4. 娯楽フジャー 1. 衣食住 2. 授業料 3. 勉学 問22

江海	438	
0	-	(3.4)
6	106	(24.2)
8	 	(2.1)
1	29	(13.5)
9	-	(2.7)
	46	(10.5)
	213	(48.6)
· - ·	33	(7.5)
2	16.	(3.7)
-	233	(53.2)

(問17でアルバイトをしたことがあると答えた人) 学業との関係はどうでしたか。

その他 9 5. 成績が悪くなった 2. ほとんど支障なし 3. 少し支障あり 4. 授業への出席が悪くなった 学業に役立つ

No.	38	
対象者		
	-	(3.9)
	·	2)
2	 	(0.5
	_ ်	
4	 	(2.1
		2)
က		(20.
	0	6
7		(63.
	40	-
-	1	(6)

問24 現在、サークル(部)に加入していますか。(2つ以内)

4. 学友会以外の学内体育系 学友会所属の文科系 2. 学友会所属の体育系 3. 学友会以外の学内文科系 5. 学外の文化系 6. 学外の体育系 7. 学内外のいずれにも加入していない

対象者	553
7	184 (33.3)
9	(2.4)
2	(1.4)
4	(12.3)
3	(11.6)
5	ু হয়
	1 48 (26.8)

(問24でサークルに加入していると答えた人) サークルに加入した理由はどれですか。(2つ以内)

友人を得る . 0 4. 免許等の資格を得る
 5. 健康増進
 10. 社会のため
 11. その他 団体生活に興味 2. 活動内容が好き 3. 知識・教養を得る
 就職のことを考えて 8. レクリエーション 9. 特技の向上

TMF	369	
対象	(r)	
=	13	(3.5)
9	·	(0.3)
6	33.	(8.9)
∞	13	(3.5)
	12	(3.3)
	142	(38.5)
	28	(9.7)
4	 	(0.3)
	8	(9.7)
	298	(80.8)
 -	33	(8.9)

問26 (問24でサークルに加入していると答えた人) サークル活動と学業との関係はどうですか。

学業に影響ない 4. 学業にプラス 5. 学業にはかなりプラス . თ 2. 学業を少し犠牲 学業をかなり犠牲

公学口	ന	
2	13	(3.5)
4	45	(12.2)
က	213	(57.7)
2	88	(23.8)
-	10	(2.7)

問27 (問24でサークルに加入していると答えた人) サークルの1週間の平均活動日数は何日くらいですか。

3.5~7日 2.3~4日 1.1~2日

単純集計

対象者	369	
က	41	(11.1)
2	123	(33.3)
-	205	(55.6)

問28 (問24でサークルに加入していると答えた人) サークル活動している時間は1週間当たり平均何時間ですか。

7. 15~19時間 6. 11~14時間 5.8~10時間 4.5~7時間 1.1時間未満 2.1~2時間 3.3~4時間 8.20~29時間 9.30時間以上

8 9 対象	6	3) (2.4) (0.8)
	1	3.8
9	 -	(2.4)
2	1	(10.0)
4	Ω	(15.4)
က	<u> </u>	(32.0)
2		(29.3)
	14	(3.8)

問29 (問24でサークルに加入していると答えた人)課外活動施設の満足度は、どうですか。

3. どちらともいえない 4. 不満 2. 満足 1. 非常に満足

-	2	8	4	5	対象者
<u></u>	102	8	i 	1	369
(41.7)	(27.6)	(22.0)	(5.7)	(3.0)	

問30 (問24でサークルに加入していると答えた人) サークルに加入していない理由はどれですか。(2つ以内)

1. 学業の妨げ 2. 練習が苦痛 3. 健康上の理由 4. 興味のあるサークルがない 5. 拘束されたくない 6. 対人関係が面倒 7. 経済的な理由 8. 時間がない 9. 特別な理由はない 10. その他

	ြ	
	36	
10	က 	(8.8)
6	5	(13.8)
8	5	(15.2)
7	15	(4.1)
9	i I I	(1.6)
2	28	(4.6)
4	(E)	(8.8)
3	0	(0.0)
5	2.1	(0.5)
	37	(10.0)

問31 定期健康診断は毎年受検しなければいけないことを知っていますか。

111111111111111111111111111111111111111	i	(100.0)
7	! !	(9.5)
	5	(8.06)

問32 平日の睡眠時間は何時間ですか。

6.8時間 7.9時間以上 5.7時間 4.6時間 1.3時間未満 2.4時間 3.5時間

Ilii¤	55	(100.0)
	် (၁)	(1.6)
9	35	(6.3)
5	17	(31.1)
4	ı ı	(42.5)
က	l I	(14.6)
2	-	(3.4)
-		(0.4)

問33 大学生にも流行する次の感染症について詳しく知りたいものは何ですか。(全て)

7. 百日咳 6. 結核 5. 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 1. インフルエンザ 2. 麻しん (はしか) 3. 風しん 4. 水痘 (みずぼうそう)

)	5		
(14.5)	12.1)	(23.3) (12.1)	(27.1) (23.3) (12.1) (

問34 現在悩んでいることはありますか。

1. ある 2. ない

+		(100.0)
2		(45.2)
-	303	(24.8)

問35 (問34で悩みがあると答えた人)悩みの原因は主にどれですか。(3つ以内)

9. 自分の性格 8. 経済的なこと 7.健康 1. 勉学 2. 家庭 3. 異性関係 4. 友人 5. 指導教員との関係 6. 将来の進路
 10. セクシャル・ハラスメント 11. アカデミック・ハラスメント 12. その他

対象者	יי ו	
	1	(7.3)
Ξ	i I	(1.0)
10	 	(0.0)
6		(23.1)
∞	61	(20.1)
	39	(12.9)
9	200	(0.99)
2		(3.6)
4	4	(15.2)
က	4	(13.9)
	22	(7.3)
	158	(52.1)

(問34で悩みがあると答えた人) 悩みが生じたらどのような方法で解消しますか。(2つ以内)

5. 先輩・友人に相談 4. 教員に相談 1. 学生なんでも相談窓口に行く 2. 学生相談ルームに行く 3. 保健管理センターに行く 4. 教員(6. 家族に相談 7. 学外機関に相談 8. 自分ひとりで解決するよう努力 9. 解消方法がわからない

対象者	303	
6	39	(12.9)
	i	(24.5)
	4	(1.3)
9	82	(27.1)
2	167	(55.1)
4	7	(2.3)
ო	7	(2.3)
 N	4	(1.3)
	2	(0.7)
_	 	<u>၂</u>

学生生活実態調査

問37 セクシャル・ハラスメントまたはアカデミックハラスメントを受けたことはありますか。

1. ある 2. ない

単純集計

+		(100.0)
2		(95.5)
-	 	(4.5)

問38 (問37で「ある」と答えた人) 誰から受けましたか。(2つ以内)

その他 ω 7. 家族・親戚 6. 友人 1. 教員 2. 事務職員 3. 研究室仲間 4. サークル仲間 5. 同級生・先輩

※ 本	('	
計算	} } •	
00		(28.0)
-	+ -	
_	1	(4.0
-	† - -	6
9	1	4.
-	5-	(O
5		(20.0
-	+	6
4	. i - ! - !	(4
-	†-ō	6
ω	1 1	0
-	<u>†</u> 4	6
0	1	(16.
-	‡ <u>=</u>	- 6
-	i.	44.

問39 悪徳商法、詐欺等の被害に遭ったことはありますか。

1. ある 2. ない

+		(100.0)
2		(97.1)
	 	(5.9)

(問37または問39で「ある」と答えた人) その後の対応はどのようにしましたか。(2つ以内) 問40

5. 学外の相談窓口に相談 1. 家族に相談 2. 友人・先輩に相談 3. 教員・事務職員に相談 4. 学内の相談窓口に相談 6. 誰にも相談しなかった 7 その他 8. 解消方法がわからない

神	16	
対象		
8		(6.3)
4	-	3
7		(6.
	4	- 6
9		(25.0
	4	. <u>-</u> (6)
5		(25.0
{	- -	. <u>.</u>
4		(6.5
:		
က		(6.3
	- ω	- -
7		(50.0
4	ō	2)
-		(62.5

問41 新潟大学の教育理念・教育目標を知っていますか。

2. 知らない 1. 知っている

抽	553	(100.0)
2	390	(70.5)
-	163	(29.5)

問42 所属する学部・研究科の教育理念・教育目標を知っていますか。

2. 知らない 1. 知っている

 =	553	(100.0)
2	349	(63.1)
	204	(36.9)

問43 大学に登校するのは、現在、1週間に平均何日ですか。

8.7日 7.6日 6.5日 5.4日 4.3日 3.2日 2.1日 1.0日

	l I	(100.0)
80	 	(3.6)
7	 	(6.4)
		(80.2)
2	65	(11.8)
4	43	(7.8)
_		(2.7)
0	1	(4.2)
	i !	(0.4)

問44 授業以外の自習時間は1日平均どのくらいですか。

6.4~5時間未満 5.3~4時間未満 4.2~3時間未満 2.30分~1時間 3.1~2時間未満8.ほとんどなし 1.30分未満 7.5時間以上

1111111	19 553	(3.4) (100.0)
7	09	(10.8)
9	26	(4.7)
5	102	(12.7)
4	68	(16.1)
က	150	(27.1)
2	104	(18.8)
-	32	(6.3)

問45 学業以外(サークル活動、アルバイトを除く)の過ごし方はどれですか。(3つ以内)

1. スポーツ 2. 旅行 3. 音楽を聴く 4. カラオケで歌う 5. 楽器を弾く 6. 読書 7. 新聞を読む 8. 娯楽雑誌を読む9. 映画を見る 10. テレビ・ビデオを見る 11. 芝居・演劇を観る 12. ゲームをする 13. 室内娯楽(麻雀等) 14. 散歩・ショッピング15. パンコン 16. ドライブ・ツーリング 17. 釣り 18. ぽんやり過ごす 19. 友人とおしゃべり 20. ボランティア活動 21. その他

6.4) 146

(43.0)

92 (16.6)

15 (2.7)

7	1 1	(26			
=		(1.1)			
10	N	(37.3)			
o	4	(8.3)			
 ∞	Ι-	(3.4)			
	14	(5.5)	対象者	ָנ <u>ט</u> ְ	
9	-	(20.4)	21	40	(7.2)
2	38	(6.9)	20	=	(2.0)
4	l I	(6.7)	19	114	(50.6)
ო	4	(22.5)	18	124	(22.4)
α		(8.9)	17	4	(0.7)
-	99	(11.9)	16	24	(4.3)

問46 大学入学後にボランティア活動に参加したことがありますか。

1. ある 2. ない

詍	553	(100.0)
2		(76.7)
-	129	(23.3)

問47 (問46で「1」と答えた人) どのような活動分野ですか (2つ以内)

6. 地域親交関係 5. 保険・衛生関係 4. 環境保護関係 社会福祉関係 2. 教育・文化・学術関係 3. 国際交流・協力関係
 災害復興(支援)関係 8. その他

対象者	-	
ω	7	(2.4)
7	12	(6.3)
9	24	(18.6)
2	12	(8.3)
4	19	(14.7)
. ـ . د	6	(7.0)
2	51	(36.6)
-	37	(28.7)

問48 本学に入学後、外国旅行をしたことがありますか。

1. ある 2. ない

111111	553	(100.0)
2	460	(83.2)
	93	(16.8)

その他 . დ 7. 学会参加 6. 社会活動 5. 観光 問49 (問48で「1」と答えた人)外国旅行の目的はどれでしたか。 1. 語学研修 2. 留学(6か月以上) 3. 学術調査 4. 課外活動

対象	! !	
8	1	(5.4)
7		(12.9)
	2	(2.2)
5	43	(46.2)
4	7	(7.5)
ო	 	(3.2)
2	2	(2.2)
-	1	(22.6)

問50 (問48で「1」と答えた人)外国旅行の費用は主にどこから工面しましたか。

その他 . 0 そのための貯金 2 1. アルバイトによる収入 2. 父母からの援助 3. 父母以外からの援助 4. 旅行ローン

対象者		
9	10	(10.8)
5	13	(14.0)
4	+ 0	(0.0)
m		(8.6)
0	36.	(38.7)
-	26	(28.0)

1か月に何冊程度読みますか。(マンガ、雑誌を除く) 問51 読書について

3.10 串以上 4. 2.5~9串 1.1~4事

#	553	(100.0)
4	117	(21.2)
3	21	(3.8)
2	49	(8.9)
	366	(66.2)

問52 本学に入学した主な理由はどれですか。(3つ以内)

4. 実力相応と思った 5. 入試センター試験の結果を見て 友人が入学したから 10. 経済的理由 11. 地元だから 1. 大学の特色・学風 2. 新潟の風土にひかれた 3. 自分の好む専攻がある6. 浪人したくなかった 7. 将来を考えて 8. 親・教師・先輩のすすめ 9.12. 特別な理由はない

対象者	553	
12	26	(4.7)
=	140	(25.3)
0	86	(17.7)
တ	5	(0.4)
∞		(13.0)
	127	(23.0)
9	95	(17.2)
2	188	(34.0)
4	161	(29.1)
က	l I	(40.9)
7	37	(6.7)
-	99	(11.9)

問53 学生生活で重視していることは次のうちどれですか。(2つ以内)

将来就きたい仕事の資格を取得 2 良き友を得たり、豊かな人間関係を結ぶこと 4 1. 勉強や研究 2. クラブ・サークル活動 3. 自分の趣味 6. アルバイトや貯金 7. 特になし 8. その他

対象者	55	
∞		(1.8)
_	-	(2.7)
9	-	(5.9)
2	Ξ	(21.0)
4	!	(42.3)
က	ι Σ	(15.6)
7		(22.4)
-	374	(9.79)

問54 全体として新潟大学に満足していますか。

5. 満足していない どちらかといえば満足していない 4 3. どちらともいえない どちらかといえば満足 1. 離紀

- ;	2	;	ε (c)		4	. :	5	
	250		61		52		100	553
	(45.2)		11.0)	-	(4.5)		(3.3)	(100.0)

問55 新潟大学のどんなところに魅力を感じますか。(2つ以内)

その他 充実したスタッフ 9 充実した設備 2 3. キャンパスが広い 4. 緑が多い 2. 風土 1. 特色・学風

2番	553	6.
対象	 	(100.0
7	46	8.3)
+	. – .	
9		(9.8)
+	<u> </u>	
2	-	(18.3
	<u>.</u>	(9
4		(18.
	00	6:
က	 	(32
		.1
8	l	3
-		30.2)

問56 所属する学部・研究科の教育施設(研究室、実験室、講義室など)の広さや機能(質)についてどのように感じますか。

どちらかといえば満足していない 5. 満足していない 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足 ς. 1. 谢阳

	100	221 - 105 -
	3	2
\sim	(19.0)	(41.8) (19.0)

試験期間以外で、図書館をどの程度利用しますか。

6. ほとんど利用しない 月に1~2日 2 月に3~4日 3. 週に1~3日 2. 週に4~5日 1. 週に6日以上

5	5	5	3 4 5
	l i	3 1	3 4

問58 図書館の利用目的は何ですか。(3つ以内)

ω 7. 自習 5. 文献検索 6. パンコンの利用 4. 文献複写 図書 2. CD・ビデオ 3. 雑誌・新聞9. FL-SALC (外国語学習支援スペース)

12. その他 10. 授業関連 11. 休憩

製品	553	
	14	(2.5)
	63	(11.4)
- · 0	9	(1.8)
 റ	6	(1.6)
	46	(8.3)
	335	(9.09)
 o	142	(25.7)
٦.	6	(16.3)
	48	(8.7)
 ~	4	(8.0)
 ⊲	4	(0.7)
	304	(25.0)

問59 図書館についてどのように感じますか。

5. 満足していない どちらかといえば満足していない 4 どちらともいえない ო 2. どちらかといえば満足 1. 滿足

	1	(100.0)
	9	
2		Ξ.
4	 	(4.3)
	+	
3	 	(9.6)
	_	$\stackrel{-}{\simeq}$
2		(32.0)
Ψ	2	(23.0)

問60 普段利用する福利厚生・共通施設(食堂、体育施設等)の広さや機能(質)についてどのように感じますか。

4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない 3. どちらともいえない どちのかといえば満足 1. 浦足

+	55	(100.0)
5	 	(5.6)
4	4	(8.0)
က	13	(24.8)
2	2	(39.1)
-	125	(22.6)

問61 普段利用する屋外環境施設(駐車場、広場など)の広さや機能(質)についてどのように感じますか。

5. 満足していない 4. どちらかといえば満足していない 3. どちらともいえない どちらかといえば満足 1. 満足 2.

 2	3	4	5	
		42	36	553
(34.4)	(28.2)	(4.6)	(6.5)	(100.0)

問62 新潟大学のICT環境 (インターネット、メール等) についてどのように感じますか。

3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない どちらかといえば満足 ς. 1. 满足

i i	553	(100.0)
5		(1.6)
4	25	(4.5)
3	86	(17.7)
	262	(47.4)
	159	(28.8)

学生生活実態調査

問63 新潟大学全体の施設、その他についてどんな不満を持っていますか。(3つ以内)

単純集計

その街 1. 休憩場所がない 2. 食堂が利用しにくい 3. 体育施設が利用しにくい 4. 駐車場が狭い 5. 駐輪場が狭い 6. 厚生施設が不十分 7. 校舎が汚い 8. 事務室の窓口が不親切 9. 学生の横のつながりがない 10. 授業以外に教員に接する機会が少ない 11. 昼の休憩時間が短い 12. 校舎の利用が制限されている 13. その

7 - 8 - 10	91:76	(16.5) (13.7) (18.6) (13.0)			
٧	32	(5.8)			
יכ	62	(11.2)			
4	199	(11.9)	対象者	553	
ď	72!	(13.0)	13	יינ	(10.5)
0	145	(26.2)	12		(56.0)
	126	(22.8)	11		(2.6)

問64 カリキュラムに対する満足度はどうですか。

5. 満足していない どちらかといえば満足していない 4 3. どちらともいえない どちらかといえば満足 ς. 1. 溡足

1111111	553	(100.0)
2		(2.2)
4	32	(2.8)
က		(13.7)
7	284	(51.4)
-	149	(56.9)

問65 授業にはどれぐらい出席していますか。

6.25%未満 5.25%以上50%未満 4. 50%以上75%未満 1.100% 2.90%以上100%未満 3.75%以上90%未満

盂	553	(100.0)
9	5	(0.9)
2		(0.5)
4	 	(1.6)
 S	61.	(11.0)
5	! !	(43.9)
-	234	(42.3)

問66 授業がよく理解できますか。

6. 25%未満 5. 25%以上50%未満 3.75%以上90%未満 4.50%以上75%未満 1.100% 2.90%以上100%未満

#	553	(100.0)
9	 	(0.0)
2	 	(1.3)
4	131	(23.7)
3	273	(49.4)
2	12	(22.1)
-	! !	(2.7)

問67 授業内容にわからないことがあった場合、どのようにしていますか。(2つ以内)

6. 何もしない 7. その他 参考書 2 3. 先輩・友人等に教わる 4. 友人同士で議論 1. 授業中に質問 2. 教員に個人的に質問

対象者	22	
7	4 (0.7)	
9	5.	_
2	281	
4	216	
က	 	
2	· 8	
-	. 3 5.6	

問68 受けている授業に満足していますか。

1.100% 2.90%以上100%未満 3.75%以上90%未満 4.50%以上75%未満 5.25%以上50%未満 6.25%未満

#	55	(100.0)
9	1	(0.9)
2	18	(3.3)
4	113	(20.4)
3	236	(42.7)
2	149	(56.9)
	32	(5.8)

問69 授業に不満がある場合、その理由はどれですか。(2つ以内)

6. 休講が多い 1. 理解できない 2. つまらない 3. 高校とあまり変わらない 4. 工夫が足りない 5. 受講者数が多すぎる 7. 試験・レポートなどが多い 8. 単位認定が厳しすぎる 9. その他

11111	111141111	+	1+1111	+		
19. 175. 42. 8.	_	- -	42-	- 88	4	553
2		כ	1	2	+	Ó

学生生活実態調査

単純集計

問70 (大学院生のみ) 教育研究指導について満足度はどの程度ですか。 1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

盂	. E
5	
4	ı
_ε	(10
2	(41
-	, :

問71 (大学院生のみ) 教育研究環境(施設・設備等)について満足度はどの程度ですか。 1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

<u></u>	130	(0.001)
2		(2.4)
4	, , , ,	- (>:)
3	24-	18.5
5	46	(35.4)
	43	(33.1) -

平成26年度 学生生活実態調査調査票

回答対象		<u> </u>	-
			所属学部・研究科等について
【全員】	問 1	どの学部・研究科に所属しています か。	1 人文学部
【全員】	問2	現在、何年生ですか。	1 1年生 4 4年生 2 2年生 5 5年生 3 3年生 6 6年生
【全員】	問3	性別は。	1 男 2 女
	<u> </u>	I	^{- ヘ} 2. 家庭状況等について
【全員】	問 4	実家のあるところはどこですか。	県内 1 新潟市 2 上越地方 3 中越地方 4 下越地方(新潟市を除く) 5 佐渡市 県外 6 北海道 7 青森県 8 岩手県 9 宮城県 10 秋田県 11 山形県 12 福島県 13 茨城県 14 栃木県 15 群馬県 16 埼玉県 17 千葉県 18 東京都 19 神奈川県 20 富山県 21 石川県 22 福井県 23 山梨県 24 長野県 25 岐阜県 26 静岡県 27 愛知県 28 三重県 29 滋賀県 30 京都府 31 大阪府 32 兵庫県 33 奈良県 34 和歌山県 35 鳥取県 36 島根県 37 岡山県 38 広島県 39 山口県 40 徳島県 41 香川県 42 愛媛県 43 高知県 44 福岡県 45 佐賀県 46 長崎県 47 熊本県 48 大分県 49 宮崎県 50 鹿児島県 51 沖縄県 52 外国
【全員】	問5	家族は何人ですか(ただし、就職し、 かつ別居している兄弟姉妹は除く)。	1 1人 6 6人 2 2人 7 7人 3 3人 8 8人 4 4人 9 9人以上 5 5人
【全員】	問6	授業料を負担している人は誰ですか。	1 本人 2 家計支持者(あなたの保護者) 3 家計支持者以外の家族 4 その他
【全員】	問7	主な家計支持者の年間(1から12月まで)総収入(税込)はどのくらいですか。	1 200万円未満 2 200万円-400万円未満 3 400万円-600万円未満 4 600万円-800万円未満 5 800万円-1000万円未満 6 1000万円以上
<u> </u>		3	. 住居・通学・食事について
【全員】	問8	現在の住居所在地はどこですか。	1 五十嵐、大学南、内野地区 2 大野、新通、槇尾地区 3 坂井、坂井輪、寺尾地区 4 旭町地区 5 公共交通機関(バス・電車)を利用した場合、片道の通学時間が1時間以内 6 その他
【全員】	問9	現在の住居はどれですか。	1 自宅 2 台所・バス・トイレ付アパート/マンション 3 バスなしアパート 4 一戸建て借家 5 下宿・貸間 6 学生寮 7 親戚・知人宅 8 その他
【全員】	問10	通学方法は主にどれですか。	1 徒歩のみ 4 バス 2 自転車 5 自動車 3 鉄道 6 オートバイ・スクーター
【全員】	問11	通学に要する片道時間はどのくらい ですか。	1 30分未満 2 30分-1時間未満 3 1時間-1時間30分未満 4 1時間30分-2時間未満 5 2時間以上

回答対象		設問	回答の選択肢
【全員】	問12	主に自分が使用できる自動車を所有 していますか。	1 所有している 2 所有していない
【全員】	問13-1	朝食はどのように食べていますか。 (主なものを 1 つ選んでください)	1 自宅(家族等が用意した物を食べる) 6 学外の食堂等を利用 2 自炊 7 その他 3 コンビニ等で購入 8 食べない 4 生協で購入 5 学生食堂を利用
【全員】	問13-2	昼食はどのように食べていますか。 (主なものを1つ選んでください)	1 自宅(家族等が用意した物を食べる)6 学外の食堂等を利用2 自炊7 その他3 コンビニ等で購入8 食べない4 生協で購入5 学生食堂を利用
【全員】	問13-3	夕食はどのように食べていますか。 (主なものを1つ選んでください)	1 自宅(家族等が用意した物を食べる)6 学外の食堂等を利用2 自炊7 その他3 コンビニ等で購入8 食べない4 生協で購入5 学生食堂を利用
	1		4. 収入・支出について
【全員】	問14-1	家計支持者から援助を受けている金額は1か月平均でどのくらいですか。 千円単位で記入してください。	
【全員】	問14-2	奨学金の貸与(給与)は月額どのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問14-3	家庭教師によるアルバイト収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問14-4	家庭教師以外のアルバイトによる収入は1か月平均でどのくらいですか。 千円単位で記入してください。	
【全員】	問14-5	家計支持者以外から援助を受けている金額は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問14-6	その他(【問14-1】~【問14-5】 以外)の収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【該当者】	問15	(【問14-2】で奨学金による収入について記入した人) 奨学金はどこから受けていますか。該 当するものすべてを選んでください。	1 日本学生支援機構 (第一種) 2 日本学生支援機構 (第二種) 3 地方公共団体 4 民間団体 5 その他
【全員】	問16-1	住居費の1か月の平均支出額はどの くらいですか。千円単位で記入してく ださい。	
【全員】	問16-2	食費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問16-3	勉学費の1か月の平均支出額はどの くらいですか。千円単位で記入してく ださい。	
【全員】	問16-4	娯楽費の1か月の平均支出額はどの くらいですか。千円単位で記入してく ださい。	
【全員】	問16-5	被服費の1か月の平均支出額はどの くらいですか。千円単位で記入してく ださい。	
【全員】	問16-6	通学費の1か月の平均支出額はどの くらいですか。千円単位で記入してく ださい。	
【全員】	問16-7	その他雑費の1か月の平均支出額は どのくらいですか。千円単位で記入し てください。	
【全員】	問16-8	預貯金のための1か月の平均支出額 はどのくらいですか。千円単位で記入 してください。	

回答対象		設問	回答の選択肢
			5. アルバイトについて
【全員】	問17	大学入学後アルバイトをしたことが ありますか。該当するものすべてを選 んでください。	1 長期のアルバイトをしたことがある(している)2 短期のアルバイトをしたことがある(している)3 休業期間中に限ってアルバイトをしたことがある4 全くしたことがない → 【問24】へ
【該当者】	問18	(【問17】でアルバイトをしたことがある(している)と答えた人) アルバイトをした理由はどれですか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 家庭の経済的負担を軽減するため2 学業を継続するため3 こづかい・臨時の支出のため4 家族からできるだけ自立したいため5 社会経験のため6 その他
【該当者】	問19	(【問17】でアルバイトをしたことが ある(している)と答えた人) アルバイトの職種はどれですか。主 なものを2つ以内で選んでください。	1 家庭教師 2 学習塾講師 3 一般事務 4 調査・技術 5 販売サービス 6 肉体労働 7 飲食業 (ファミレス・居酒屋) 8 その他
【該当者】	問20	(【問17】でアルバイトをしたことが ある(している)と答えた人) アルバイトの1週間の平均就労日数 は何日くらいですか。	1 1日-2日 2 3日-4日 3 5日-7日
【該当者】	問21	(【問17】でアルバイトをしたことがある(している)と答えた人)アルバイトの1週間平均就労時間は何時間くらいですか。	
【該当者】	問22	(【問17】でアルバイトをしたことがある(している)と答えた人) アルバイトの収入は何に使いますか。主なものを2つ以内で選んでください。	2 授業料 7 旅行費 3 勉学費 8 資格等取得費
【該当者】	問23	(【問17】でアルバイトをしたことが ある(している)と答えた人) 学業との関係はどうでしたか。	1 学業に役立った2 ほとんど支障がなかった3 少しは支障があった4 授業への出席が悪くなった5 成績が悪くなった6 その他
			6. 課外活動について
【全員】	問24	現在、サークル(部)に加入していますか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 学友会所属の文化系サークルに加入している 2 学友会所属の体育系サークルに加入している 3 学友会以外の学内文化系サークルに加入している 4 学友会以外の学内体育系サークルに加入している 5 学外の文化系サークルに加入している 6 学外の体育系サークルに加入している 7 学内外のいずれのサークルにも加入していない → 【問30】へ
【該当者】	問25	(【問24】でサークルに加入していると答えた人) サークルに加入した理由はどれですか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 団体活動に興味がある 2 活動内容が好きだから、または興味があるから 3 知識・教養を得るため 4 免許等の資格を得るため 5 健康増進のため 6 友人を得るため 7 就職のことを考えて 8 レクリエーションとして 9 特技向上のため 10 社会のため 11 その他
【該当者】	問26	(【問24】でサークルに加入していると答えた人) サークル活動と学業との関係はどうですか。	 1 学業をかなり犠牲にする 2 学業を少し犠牲にする 3 学業に影響ない 4 学業にプラスになる 5 学業にかなりプラスになる
【該当者】	問27	(【問24】でサークルに加入している と答えた人) サークルの1週間の平均活動日数は 何日くらいですか。	1 1日-2日 2 3日-4日 3 5日-7日
【該当者】	問28	(【問24】でサークルに加入している と答えた人) サークル活動している時間は、1週 間当たり平均何時間ですか。	

回答対象		設問	回答の選択肢
【該当者】	問29	(【問24】でサークルに加入していると答えた人) 課外活動施設の満足度はどうですか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない → (【問29】) へ 5 満足していない → (【問29】) へ
【該当者】	(問29)	(【問29】で「4 どちらかといえば満足していない」もしくは「5 満足していない」と答えた人) 具体的な理由を記入してください。	
【該当者】	問30	(【問24】でサークルに加入していないと答えた人) サークルに加入していない理由はどれですか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 学業の妨げとなる 2 練習が苦痛 3 健康上の理由 4 興味のあるサークルがない 5 拘束されたくない 6 対人関係が面倒 7 経済的な理由 8 時間がない 9 特別な理由がない 10 その他
			7. 健康・悩み事について
【全員】	問31	毎年、定期健康診断を受検していますか。 すか。	1 はい 2 いいえ
【全員】	問32	平日の睡眠時間は平均何時間ですか。	1 3時間未満 4 6時間 7 9時間以上 2 4時間 5 7時間 3 5時間 6 8時間
【全員】	問33	大学生にも流行する次の感染症について、詳しく知りたいものは何ですか。 該当するものすべてを選んでください。	 1 インフルエンザ 2 麻しん(はしか) 3 風しん 4 水痘(みずぼうそう) 5 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 6 結核 7 百日咳
【全員】	問34	現在、悩んでいることはありますか。	1 ある 2 ない → 【問37】へ
【該当者】	問35	(【問34】で「1 ある」と答えた人) 悩みの原因は主にどれですか。悩み の多い順に3つ以内で選んでください。	1 勉学上のこと 7 健康上のこと 2 家庭のこと 8 経済的なこと 3 異性関係のこと 9 自分の性格のこと 4 友人のこと 10 セクシャル・ハラスメント 5 指導教員との関係 11 アカデミック・ハラスメント 6 将来の進路のこと 12 その他
【該当者】	問36	(【問34】で「1 ある」と答えた人) 悩みが生じたら主にどのような方法 で解消しますか。主なものを2つ以内 で選んでください。	 学生なんでも相談窓口に行く 学生相談ルームに行く 保健管理センターに行く 教員に相談する 先輩・友人に相談する 家族に相談する 学外の機関に相談する 自分ひとりで解決するよう努力する 解消方法がわからない
【全員】	問37	セクシャル・ハラスメント又はアカ デミックハラスメントを受けたことは ありますか。	
【該当者】	問38	(【問37】で「1 ある」と答えた人) 誰から受けましたか。2つ以内で選 んでください。	1 教員 2 事務職員 3 研究室仲間 4 サークル仲間 5 同級生・先輩 6 友人 7 家族・親戚 8 その他
【全員】	問39	悪徳商法、詐欺等の被害に遭ったことがありますか。	1 ある 2 ない → 【問41】へ
【該当者】	問40	(【問37】または【問39】で「1 ある」と答えた人) その後の対応はどのようにしましたか。2つ以内で選んでください。	1 家族に相談した 2 友人・先輩に相談した 3 教員・事務職員に相談した 4 学内の相談窓口に相談した 5 学外の相談窓口に相談した 6 誰にも相談しなかった 7 その他 8 解消方法がわからない
			8. 大学生活について
【全員】	問41	新潟大学の教育理念・教育目標を 知っていますか。	1 知っている 2 知らない
【全員】	問42	所属する学部・研究科の教育理念・ 教育目標を知っていますか。	1 知っている 2 知らない
【全員】	問43	大学に登校するのは、現在、1週間 に平均何日ですか。	

回答対象		設問	回答の選択肢
【全員】	問44	授業以外の自習時間は1日平均どのくらいですか(授業で出された課題に取り組む時間やゼミ等の発表準備時間を含む)。	2 30分-1 時間未満 6 4 時間-5 時間未満
【全員】	問45	学業以外(サークル活動、アルバイトを除く)の過ごし方はどれですか。 主なものを3つ以内で選んでください。	1 スポーツ 8 娯楽雑誌を読む 15 パソコン 2 旅行 9 映画を見る 16 ドライブ・ツーリング 3 音楽を聴く 10 テレビ・ビデオを見る 17 釣り 4 カラオケで歌う 11 芝居・演劇をみる 18 ぽんやり過ごす 5 楽器をひく 12 ゲームをする 19 友人とおしゃべり 6 読書 13 室内娯楽(マージャン等) 20 ボランティア活動 7 新聞を読む 14 散歩・ショッピング 21 その他
【全員】	問46	大学入学後にボランティア活動に参 加したことがありますか。	1 ある 2 ない → 【問48】へ
【該当者】	問47	(【問46】で「1 ある」と答えた人) どのような活動分野ですか。主なも のを2つ以内で選んでください。	1 社会福祉関係 2 教育・文化・学術関係 3 国際交流関係 4 環境保護関係 5 保健・衛生関係 6 地域振興関係 7 災害復興(支援)関係 8 その他
【全員】	問48	本学に入学後、外国旅行をしたこと がありますか。	1 ある 2 ない → 【問51】へ
【該当者】	問49	(【問48】で「1 ある」と答えた人) 外国旅行の目的はどれでしたか。主 なものを2つ以内で選んでください。	1 語学研修 5 観光 2 留学 (6か月以上) 6 社会活動 3 学術調査 7 学会参加 4 課外活動 8 その他
【該当者】	問50	(【問48】で「1 ある」と答えた人) 外国旅行の費用は主にどこから工面 しましたか。	1 アルバイトによる収入4 旅行ローン2 父母からの援助5 そのための貯金3 父母以外からの援助6 その他
【全員】	問51	読書について、1か月に何冊程度読みますか(マンガ、雑誌を除く)。	1 1冊-4冊 2 5冊-9冊 3 10冊以上 4 その他
【全員】	問52	本学に入学した主な理由はどれですか。主なものを3つ以内で選んでください。	 大学の特色・学風 新潟の風土にひかれた 自分の好む専攻分野がある 実力相応と思った 入試センター試験の結果をみて 浪人したくなかった 将来の進路を考えて 親・教師・先輩のすすめ 友人が入学したから 経済的理由から 地元である 特別な理由はない
【全員】	問53	大学生活で重視していることはなん ですか。主なものを2つ以内で選んで ください。	1 勉強や研究 2 クラブ・サークルの活動 3 自分の趣味 4 良き友を得たり、豊かな人間関係を結ぶこと 5 将来就きたい仕事の資格を取得すること 6 アルバイトや貯金 7 特になし 8 その他
【全員】	問54	全体として新潟大学での大学生活に満足していますか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
【全員】	問55	新潟大学のどんなところに魅力を感 じますか。主なものを2つ以内で選ん でください。	1 大学の特色・学風 4 キャンパスに緑が多い 2 大学の風土 5 充実した設備 3 キャンパスが広い 6 充実したスタッフ 7 その他 → (【問55】) へ
【該当者】	(問55)	(【問55】で「7 その他」と答えた 人)	
		具体的な内容を記入してください。	. 大学の施設・設備について
【全員】	問56	所属する学部・研究科の教育・研究 施設(研究室、実験室、講義室等)の 広さや機能(質)についてどのように 感じますか。	1 満足している2 どちらかといえば満足している3 どちらともいえない4 どちらかといえば満足していない5 満足していない

回答対象		設問	回答の選択肢
【自由記述】	(問56)	(所属する学部・研究科の教育・研究施設(研究室、実験室、講義室等)の広さや機能(質)について)意見があれば、記入してください。	
【全員】	問57	図書館をどの程度利用しますか。	1 週に6日以上 2 週に4-5日 3 週に1-3日 4 月に3-4日 5 月に1-2日 6 ほとんど利用しない
【全員】	問58	図書館の利用目的は何ですか。主な ものを3つ以内で選んでください。	1 図書の貸出、閲覧 2 CD・ビデオの貸出、閲覧 3 雑誌・新聞の閲覧 4 文献複写 5 文献検索 6 パソコンの利用(文献複写目的以外) 7 自習 8 グループ学習 9 FL-SALC (外国語学習支援スペース) 10 授業関連(ICT講義室、ライブラリーホール、プレゼンエリア等) 11 休憩等(カフェ、気分転換、待ち合わせ) 12 その他
【全員】	問59	図書館についてどのように感じますか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない → (【問59】) へ 5 満足していない → (【問59】) へ
【該当者】	(問59)	(【問59】で「4 どちらかといえば満足していない」または「5 満足していない」と答えた人) 具体的な理由を記入してください。	
【全員】	問60	普段利用する福利厚生・共通施設(食堂、体育施設等)の広さや機能(質)についてどのように感じますか。	1 満足している2 どちらかといえば満足している3 どちらともいえない4 どちらかといえば満足していない5 満足していない
【自由記述】	(問60)	(普段利用する福利厚生・共通施設 (食堂、体育施設等)の広さや機能(質) について)意見があれば、記入してく ださい。	
【全員】	問61	普段利用する屋外環境施設(駐輪場、 広場等)の広さや機能(質)について どのように感じますか。	1 満足している2 どちらかといえば満足している3 どちらともいえない4 どちらかといえば満足していない5 満足していない
【自由記述】	(問61)	(普段利用する屋外環境施設(駐輪場、広場等)の広さや機能(質)について) 意見があれば、記入してください。	
【全員】	問62	新潟大学のICT(Information and Communication Technology)環境(インターネット、メール等)についてどのように感じますか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
【自由記述】	(問62)	(新潟大学のICT (Information and Communication Technology) 環境 (インターネット、メール等) について) 意見があれば、記入してください。	
【全員】	問63	新潟大学全体の施設等についてどん な不満を持っていますか。主なものを 3つ以内で選んでください。	1 休憩の場所がない 2 食堂が利用しにくい 3 体育施設が利用しにくい 4 駐車場が狭い 5 駐輪場が狭い 6 厚生施設が不十分 7 校舎が汚い 8 事務室の窓口が不親切 9 学生の横のつながりがない 10 授業以外に教員に接する機会が少ない 11 昼の休憩時間が短い 12 校舎の利用時間が制限されている 13 その他
【該当者】	(問63)	(【問63】で「13 その他」と答えた 人) 具体的な内容を記入してください。	

回答対象		設問	回答の選択肢	
			10. 授業等について	
【全員】	問64	カリキュラムに対する満足度はどう ですか。	1 満足している2 どちらかといえば満足している3 どちらともいえない4 どちらかといえば満足していない5 満足していない	
【全員】	問65	授業にはどれぐらい出席していますか。	1 100% 2 90%以上100%未満 3 75%以上90%未満 4 50%以上75%未満 5 25%以上50%未満 6 25%未満	
【全員】	問66	授業をどれぐらい理解できています か。	1 100% 2 90%以上100%未満 3 75%以上90%未満 4 50%以上75%未満 5 25%以上50%未満 6 25%未満	
【全員】	問67	授業内容にわからないことがあった 場合、どのようにしていますか。主な ものを2つ以内で選んでください。		
【全員】	問68	受けている授業にどれぐらい満足し ていますか。	1 100% 2 90%以上100%未満 3 75%以上90%未満 4 50%以上75%未満 5 25%以上50%未満 6 25%未満	
【全員】	問69	授業に不満がある場合、その理由は どれですか。主なものを2つ以内で選 んでください。		
【該当者】	(問69)	(【問69】で「9 その他」と答えた 人) 具体的な内容を記入してください。		
【大学院生】	問70	教育研究指導について満足度はどの 程度ですか。	 満足している どちらかといえば満足している どちらともいえない どちらかといえば満足していない → 【問72】 へ 満足していない 	
【大学院生】	問71	教育研究環境(施設・設備等)につ いて満足度はどの程度ですか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない → 【問72】 へ 5 満足していない → 【問72】 へ	
【大学院生 該当者】	問72	(【問70】または【問71】で「4 どちらかといえば満足していない」または「5 満足していない」と答えた人) 具体的な理由を記入してください。		
	11. その他			
【自由記述】		上記で回答した以外に、意見・要望 があれば、以下に記入してください。		

学生生活実態調査報告書

発行日 2015年6月

発行者 新潟大学大学教育委員会

学生支援専門委員会

住 所 〒950-2181

新潟市西区五十嵐2の町8050番地

印 刷 株式会社 第一印刷所